

INVESTORS' GUIDE 2023

Year ended March 31, 2023

インベスターズガイド2023

2023年3月期

プロフィール	— P2
長期経営構想	— P4
長期経営構想	— P5
宝グループ中期経営計画2025	— P6
宝グループ・サステナビリティ	— P12
セグメント情報	— P13
宝酒造	— P14
宝酒造インターナショナルグループ	— P20
タカラバイオグループ	— P24
財務データ編	— P26
業績推移	— P27
連結財務諸表	— P31
連結財務指標	— P34
株式情報	— P37
主要子会社一覧	— P39

◆会社概要

商号	宝ホールディングス株式会社
本店所在地	京都市
設立	1925年9月6日
代表者	取締役社長 木村 睦
資本金	13,226百万円

●業績推移 (単位:百万円)



●2023年3月期業績 (単位:百万円)

売上高 Net sales	営業利益 Operating income	親会社株主に帰属する 当期純利益 Net income attributable to owners of the parent
350,665	37,945	21,206

※2022年3月期より、収益認識に関する会計基準等の適用に伴い、従来販売費及び一般管理費で処理していた費用の一部を売上高から控除しております。

◆企業理念

自然との調和を大切に、発酵やバイオの技術を通じて
人間の健康的な暮らしと生き生きとした社会づくりに貢献します。

◆事業構造

2023年3月31日現在

宝ホールディングス株式会社 Takara Holdings Inc.

宝酒造(国内事業)

持株比率: 100% 宝酒造株式会社

宝酒造インターナショナルグループ(海外事業) 連結子会社41社

持株比率: 100% 宝酒造インターナショナル株式会社

タカラバイオグループ(バイオ事業) 連結子会社9社

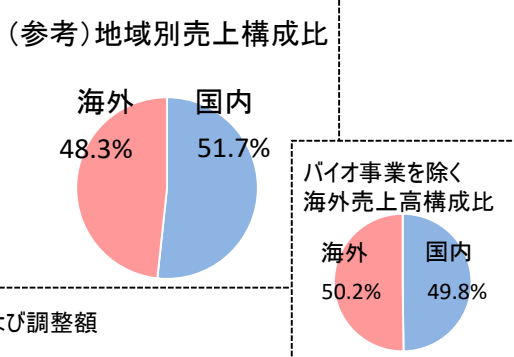
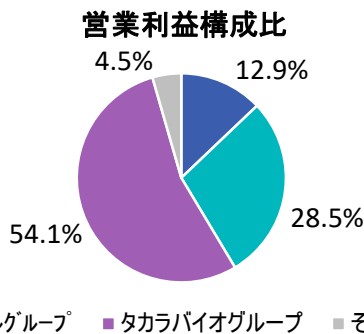
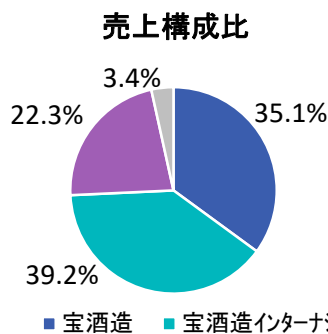
持株比率: 60.9% タカラバイオ株式会社 東証プライム上場(コード: 4974)

その他(国内グループ会社 連結子会社8社)

国内グループ会社

◆セグメント別売上および営業利益構成比

2023年3月期



◆セグメント概況

宝酒造

●事業概要

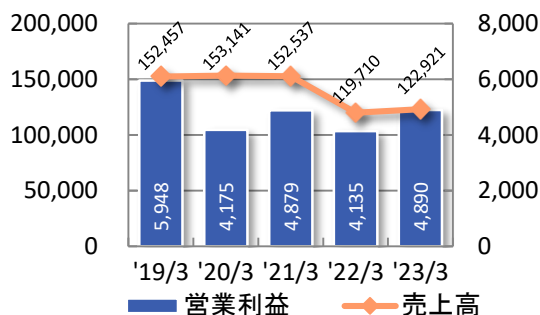
宝酒造は、清酒・焼酎や和の調味料の本みりんなど、日本の伝統的な酒類・調味料である「和酒」に強みを持つ国内有数のメーカーです。

●2023年3月期業績 (単位:百万円)

売上高 122,921
営業利益 4,890



●業績推移 (単位:百万円)



※2022年3月期より、収益認識に関する会計基準等の適用に伴い、従来販売費及び一般管理費で処理していた費用の一部を売上高から控除しております。

宝酒造インターナショナルグループ

●事業概要

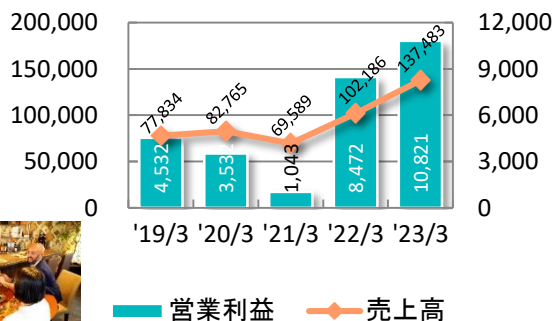
宝酒造インターナショナルグループは、海外の日本食レストランや小売店に日本食材などを販売する海外日本食材卸事業と、酒類の輸出や海外各地で製造販売を行う海外酒類事業を展開しています。

●2023年3月期業績 (単位:百万円)

売上高 137,483
営業利益 10,821



●業績推移 (単位:百万円)



タカラバイオグループ

●事業概要

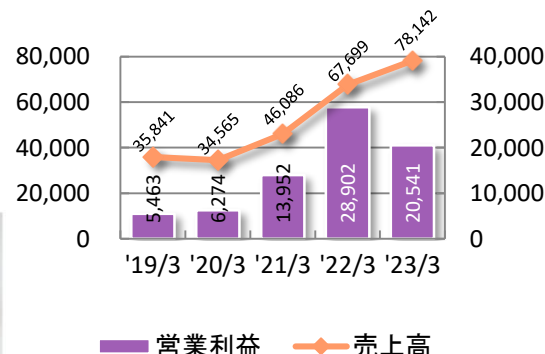
タカラバイオグループは、「研究用試薬・理化学機器事業」と「CDMO事業」を通じ、バイオ創薬基盤技術開発を進め、新モダリティを継続的に創出する創薬企業を目指していきます。

●2023年3月期業績 (単位:百万円)

売上高 78,142
営業利益 20,541



●業績推移 (単位:百万円)





長期経営構想



Vision(ありたい姿)

「Smiles in Life ～笑顔は人生の宝～」

宝グループは、おいしさを追求する技術と革新的なバイオ技術によって、和酒・日本食とライフサイエンスにおける多様な価値を安全・安心に提供する企業グループとして、世界中の暮らしを、命を、人生を、笑顔で満たすために挑戦し続けます。

経営方針

技術力、商品力、ブランド力をさらに向上させ、「和酒・日本食市場」「ライフサイエンス産業」における多様な価値を提供することで、宝グループの国内外での存在感を高めながら、持続的な成長と飛躍を実現する。

定量目標

	連結売上高	連結営業利益	海外売上高比率 (タカラバイオグループ除く 海外売上高比率)	ROE	ROIC
2026年3月期	4,200億円以上	380億円以上	60%以上 (60%以上)	9.0%以上	7.5%以上

事業戦略

- ◆ 国内事業(宝酒造)

国内の和酒No.1メーカーのポジションを活用した付加価値経営への変革によって、着実に利益成長できる事業基盤を再構築し、企業イメージを向上させてグローバル和酒No.1企業(※1)としての根幹を支える。
- ◆ 海外事業(宝酒造インターナショナルグループ)

グローバルな和酒の拡大を加速させるとともに、海外日本食材卸のネットワークの拡充を進めながら、国内外でのグループシナジーをさらに発揮し、海外における和酒・日本食材No.1企業(※2)を目指す。

◇ 国内事業・海外事業の共通目的
国内事業と海外事業が協業することで、一体感を持って「グローバル和酒・日本食材No.1企業(※3)」を目指す。
- ◆ バイオ事業(タカラバイオグループ)

研究用試薬・機器事業とCDMO事業を通じ、バイオ創薬基盤技術開発を進め、新モダリティ(※4)を創出し続ける創薬企業を目指す。
- ◆ その他(国内グループ会社)

宝グループ内における位置付けや担う役割から明確にされた各社のミッションを確実に遂行し、グループの業績と企業価値向上に貢献する。
- ◆ 経営基盤(コーポレート部門)

グローバルにグループ経営をリードし、グループの企業価値と一体感を高めるためのコーポレート機能を強化するとともに、コーポレート部門の効率性を向上する。

※1: 国内+海外(輸出+現地生産)で和酒No.1 ※2: 海外(輸出+現地生産)和酒No.1+海外日本食材卸No.1
 ※3: グローバル和酒No.1+海外日本食材卸No.1 ※4: 治療法



中期経営計画2025

経営方針

成長・強化領域への投資を加速させ、企業価値を高める3年間

成長・強化領域 ※1 への投資を加速させ、生産性の向上やイノベーションの創出を働きがいを高めることで実現し、グローバルかつサステナブルな宝独自の2つのビジネスモデルを確立・強化することで、バランスのとれた事業ポートフォリオでの持続的な成長とVisionの実現を達成する。

加えて、コーポレートとしての情報発信とコミュニケーションを強化することで、企業価値を高める。

※1 成長・強化領域

宝酒造：安全・安心な生産体制の強化、ヒット商品の開発・育成、重点ブランド育成

宝酒造インターナショナルグループ：北米、欧州での食材卸拠点拡大、和酒の拡大

タカラバイオグループ：試薬・機器事業の拡大、CDMO事業の拡充、創薬基盤技術の価値最大化

5つの重点戦略

- ① ROIC経営の浸透を通じた、成長・強化領域への投資
 - ・3か年投資計画 880億円 2026年3月期 ROIC目標7.5%以上
- ② 中長期的な価値創造を通じた、社会の持続可能性の向上を両立する宝独自のビジネスモデルの確立・強化

宝独自の2つのビジネスモデル

宝酒造・
宝酒造インターナショナルグループ

日本食文化の世界浸透推進

グローバルな
「和酒※2・日本食※3拡大」

- ・和酒を中心とした酒類を製造する国内外における酒類事業の拡大と、日本食を調達し世界中に届ける海外日本食材卸事業を伸長させる。
- ・さらに、強みである「グローバルな商品供給ネットワーク」を最大限活用し、両事業のシナジーを発揮させて、和酒・日本食を拡大する。
- ・このような宝ならではのビジネスモデルを構築することで、世界の「和酒・日本食市場」でのプレゼンスを高めていく。

タカラバイオグループ

ライフサイエンス産業におけるインフラを担うグローバルプラットフォーム

「試薬・機器事業の拡大」
「CDMO事業の大幅な拡充」
「創薬基盤技術の価値最大化」

- ・新モデルを創出する基盤技術の開発や、製造技術力の強化に投資し、臨床・創薬分野における新製品やCDMOメニューを充実させ、「試薬・機器事業」と「CDMO事業」を両輪とした持続的成長を実現する。
- ・さらに、独自の創薬基盤技術の価値最大化を目指して遺伝子治療への応用開発も行う。
- ・このようなタカラバイオ独自のビジネスモデルを構築することで、「ライフサイエンス産業」におけるプレゼンスをさらに高めていく。

※2 日本の酒税法上での清酒・焼酎・みりん等のトラディショナルな和酒に、和的な要素を含むイノベティブな和酒を加えた総称

※3 日本で生まれたトラディショナルな和食と、海外で生まれ日本でアレンジされてきたイノベティブな日本食の総称

5つの重点戦略

- ③ 無形資産(人的資本・ITなど)への投資の強化
(「働きがい」を高めることで、生産性の向上やイノベーションの創出を実現)
- ・「成長・強化領域に必要な人財ポートフォリオの強化」とともに、多様な人財の活躍推進、従業員エンゲージメントの向上などの「やりがい」の醸成(風土革新)に取り組む。
 - ・ペーパーレス・電子化の推進など業務のアップデートを通じた「働きやすさ」の実現(業務革新)や国内グループ基幹システムの再構築に取り組む。
- ④ サステナビリティの取り組みに対するグループとしての推進力向上
- ・TCFDフレームワーク等の開示基準への適切な対応と事業を通じた社会課題の解決に向けた取り組み内容の充実。
 - ・本中計で推進するサステナビリティへの取り組み

事業(商品・サービス)を通じた社会課題の解決	【豊かな食生活】和酒や日本食の魅力や新たな価値の発信など 【環境】環境配慮型商品の開発や、環境に配慮した製品パッケージおよび梱包への対応 【コミュニティ】地域社会の発展への貢献 【健康】世界のライフサイエンス研究と発展への支援、健康配慮型商品の提供など
社会課題の解決に資するバリューチェーンの強化	【安全・安心】各社における安全・安心な品質確保の維持 【酒類メーカーとしての責任】適正飲酒の啓発(20歳未満の者の飲酒禁止、飲酒運転防止等)や責任あるマーケティングの実施 【環境】CO ₂ 排出量削減計画(設備投資等)の実行など 【人財】次世代を担う人財・グローバル人財の育成、多様な人財の活躍推進など 【調達】調達先へのガイドラインの遵守要請 【人権】人権デューデリジェンス・プロセスの実施 【ガバナンス】コーポレートガバナンスの推進

- ⑤ コーポレートコミュニケーションの強化
- ・社内外のステークホルダーの理解、共感、評価を高め、企業価値向上を目指す。

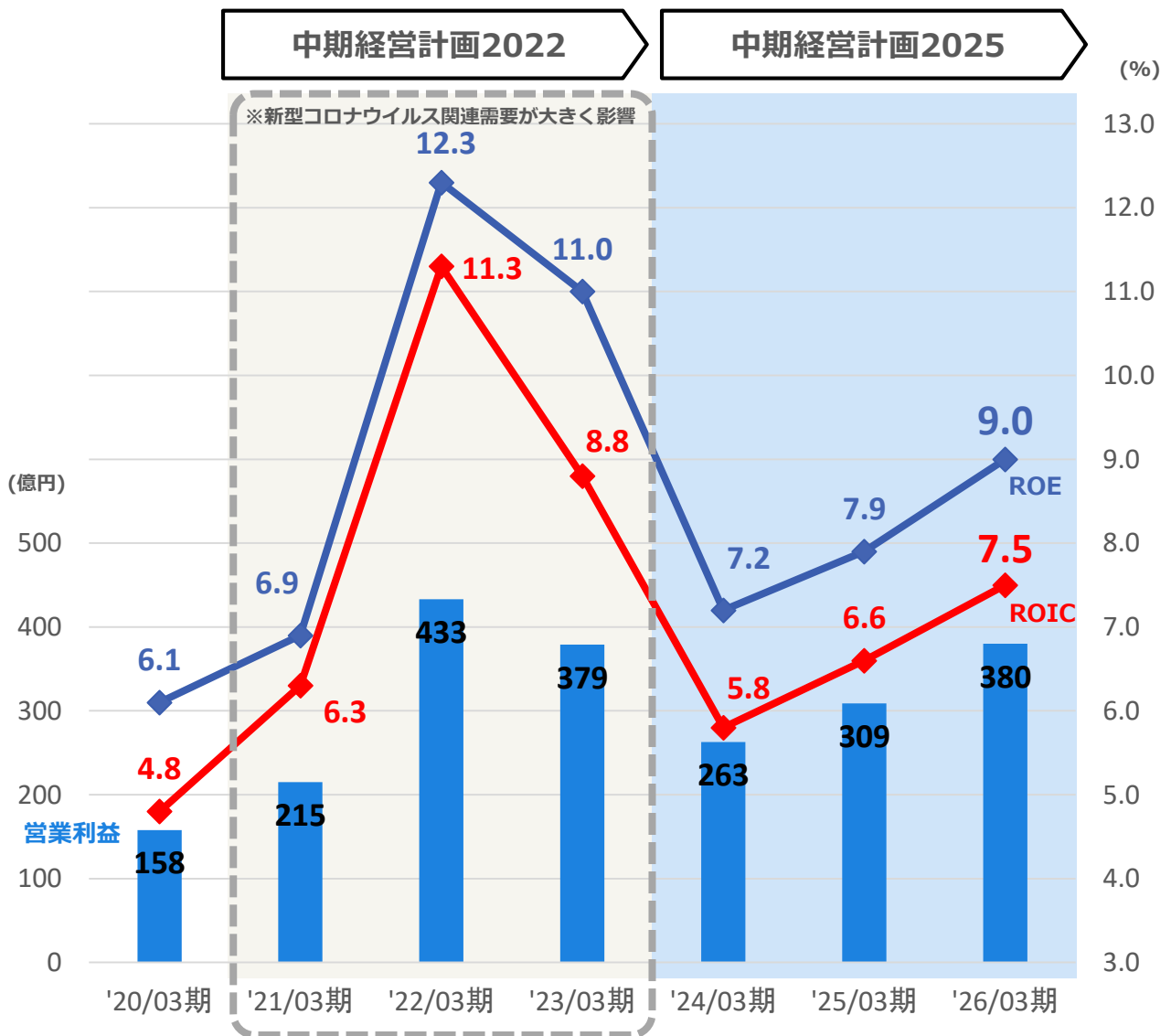
財務方針

- ・健全な財務体質の維持をベースとして、成長・強化領域への投資を加速するために、グローバルなキャッシュマネジメントを強化するとともに、資産の効率性の向上や、政策保有株式の売却等によりキャッシュフローを創出する。
- ・投下資本効率性の観点からのモニタリングを充実させる。
- ・<株主還元方針>
利益水準に応じた適切な株主還元(配当性向35%を目途)を実施する。

定量目標

	連結売上高	連結営業利益	海外売上高比率 (タカラバイオグループ除く 海外売上高比率)	ROE	ROIC
2026年3月期	4,200億円以上	380億円以上	60%以上 (60%以上)	9.0%以上	7.5%以上

指標の推移



新型コロナウイルス関連需要の影響により、各指標は2024年3月期は2023年3月期と比べて下がるが、2025年3月期は向上に転じ、コロナ前の数値を大きく上回る計画

事業方針

◆ 宝酒造

「グローバル和酒No.1」の源泉として、伸長領域を中心に、高い技術力と「NIPPON品質 ※4」に基づいた新たな市場を創造する商品の開発・育成やブランド価値の向上に注力するとともに、宝酒造インターナショナルグループとの協業も加速させ、社会課題の解決に貢献しながら、利益額・率を大きく向上させる。

※4 日本において「安全・安心で信頼できて高品質である」と評価され、世界中の人々にも同様の価値を提供できる「宝が約束する日本発・世界標準のグローバルな高品質レベル」のこと

◆ 宝酒造インターナショナルグループ

宝酒造や国内外のグループ会社との協業を加速し、現地のニーズを捉えた輸出・現地生産の商品ポートフォリオの拡充と、和酒に強みを持った日本食材卸としてのプレゼンスの向上によって、和酒と日本食の相乗効果を最大限に発揮した「日本食文化の世界浸透」を推進し、社会課題の解決に貢献しながらグローバル和酒・日本食材No.1企業を目指す。

◇ 宝酒造・宝酒造インターナショナルグループとの協業

国内外のニーズやトレンドを捉えて、スパークリング日本酒「霽」のグローバルブランド化を中心に、トラディショナル※5、イノベティブ ※6 の両面から和酒の開発とブランド育成を進めることで、世界の市場に和酒を拡大し、グローバル和酒No.1企業としてのプレゼンスを高める。

※5 日本の酒税法上の規格に合わせたお酒

※6 従来の和酒の領域を拡張する革新的なお酒

◆ タカラバイオグループ

試薬・機器の新製品やCDMOメニューの開発および新モダリティを創出する基盤技術の開発に向けてR&D費用を積極的に投下することで、臨床・創薬分野への事業領域拡大を加速させながら、「ライフサイエンス産業におけるインフラを提供するグローバルプラットフォーマー」としての存在感を高める。

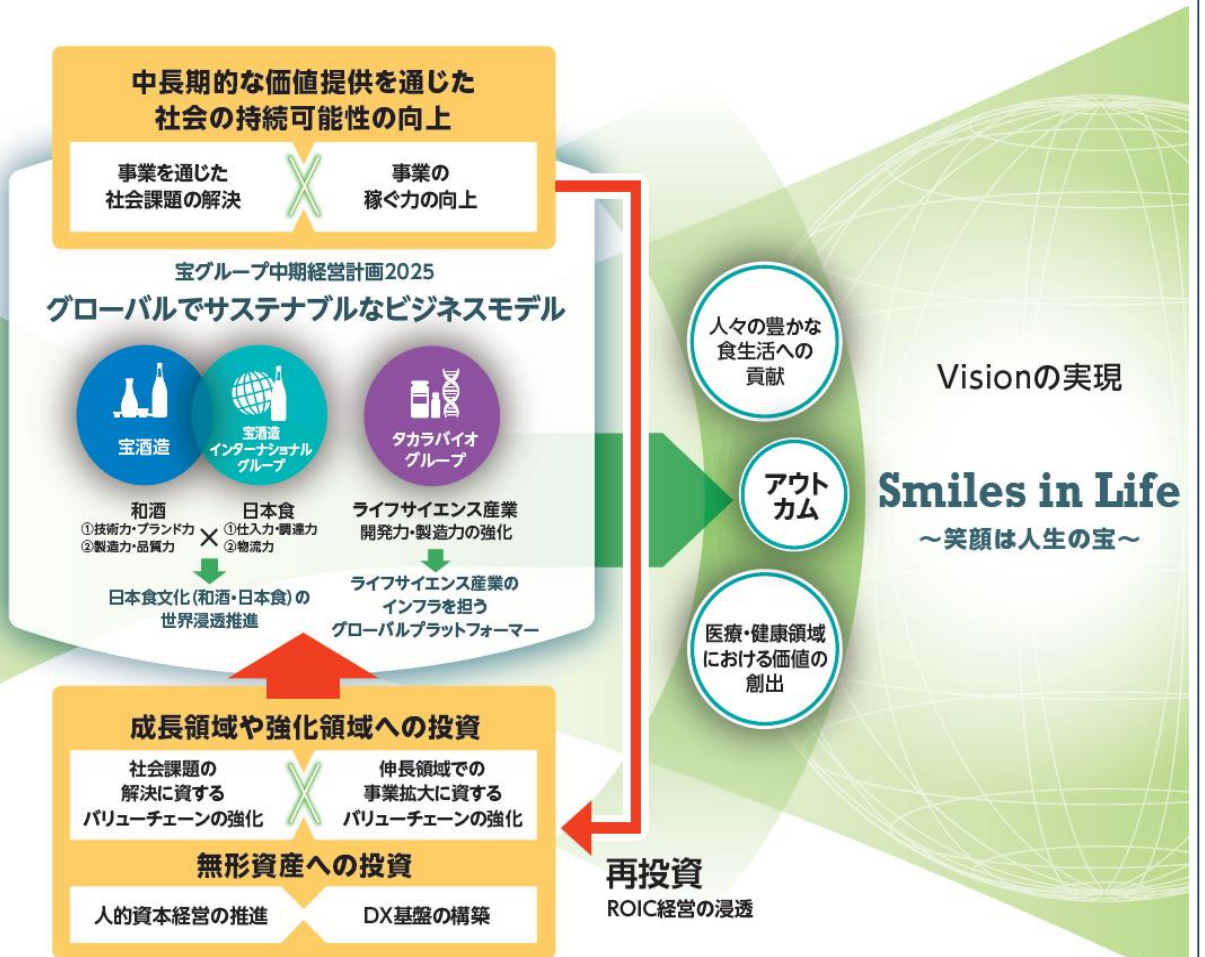
◆ 国内グループ会社

「成長・強化領域」への経営資源の投下を充実させ、宝グループのROEの向上や社会課題の解決に貢献しながら、持続的に成長していく各社のビジネスモデルを強化する。

◆ コーポレート部門

“事業と一体”となって、グローバルでサステナブルなビジネスモデルを強固に支えるグループ経営機能を強化するとともに、グループ全体の生産性の向上やイノベーションの創出の実現に向けた「働きがい」のある環境を構築し、「Vision実現プロセス」の実効性を高めながら、社内外のステークホルダーからの宝グループの評価を向上させる。

Vision実現プロセス



宝独自のビジネスモデルの確立と事業推進によって、事業の稼ぐ力を向上させながら、社会課題を解決することで、Visionの実現を目指すプロセスを「Vision実現プロセス」として体系化

宝グループのサステナビリティについて

基本的な考え方

宝グループは「自然との調和を大切に、発酵やバイオの技術を通じて人間の健康的な暮らしと生き生きとした社会づくりに貢献します」という企業理念のもと、日本伝統の酒造りの発酵技術と最先端のバイオ技術の革新を通じて、食生活や生活スタイル、ライフサイエンスにおける可能性を探求し、新たな価値を創造し続けることによって社会への貢献を果たしてきました。

穀物や水、微生物といった様々な自然の恩恵のもとで事業活動を行う当社グループにとって、豊かな自然環境が保たれることは、事業を継続するうえでの大前提です。また、食品や医療に関わる事業を営む企業として、安全・安心な製品・商品・サービスを提供することは最も重要なテーマであり、同時にアルコール関連問題をはじめとする様々な社会課題にも対処していく必要があります。

当社グループを取り巻く社会環境は急速に変化し、気候変動、生物多様性保全、資源保全、人権尊重といった多様な課題への対応が世界的規模で求められており、持続可能な社会づくりに向けた企業の責任はますます大きくなっています。

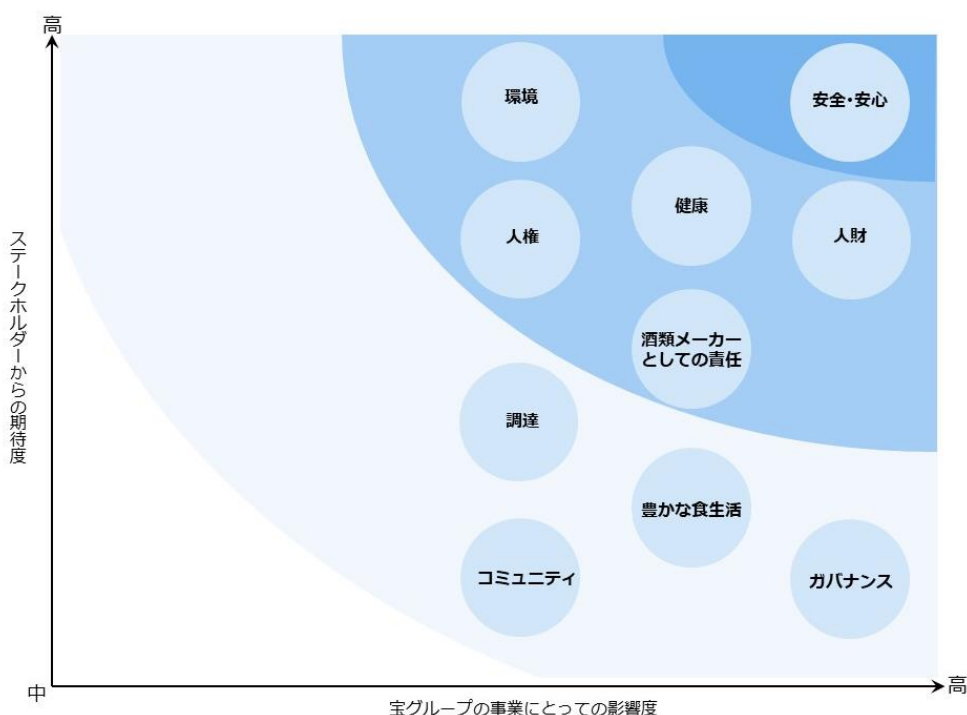
当社グループは「Smiles in Life～笑顔は人生の宝～」をありたい姿(Vision)として掲げ、世界中の暮らしを、命を、人生を、笑顔で満たすために挑戦し続けることを宣言しています。そして、事業活動を通じた社会的価値の創造を将来にわたって実現し続けていくためには、様々な社会課題の解決にこれまで以上に取り組む必要があるという認識のもと、「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」を公表しています。

「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」では、当社グループを取り巻く社会課題について、「安全・安心」をはじめとする10の重要課題(マテリアリティ)を取り上げ、各々についての取り組み方針を示しており、さらに、その方針に基づく具体的な中長期目標を設定した「宝グループ・サステナビリティ・ビジョン」を策定しました。

当社グループは、これからも事業活動を通じた社会的価値の創造により、ステークホルダーの皆様から信頼される企業グループを目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

重要課題(マテリアリティ)

<マテリアリティ・マトリクス>





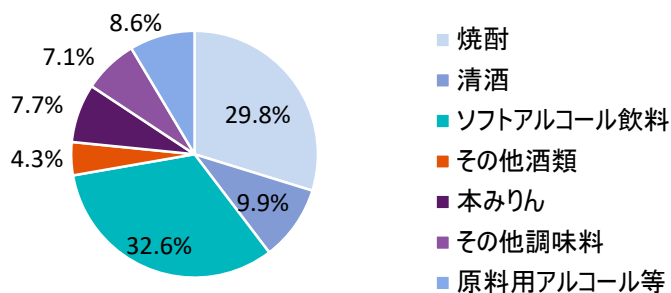
セグメント情報



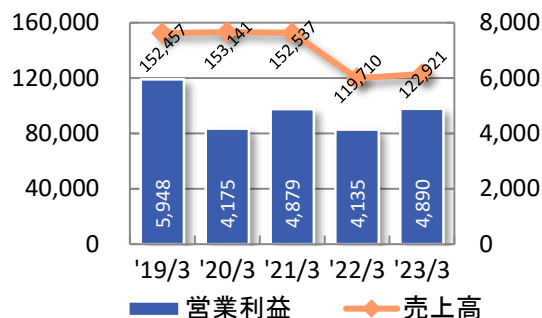
◆売上構成比および業績推移

2023年3月期

●売上構成比

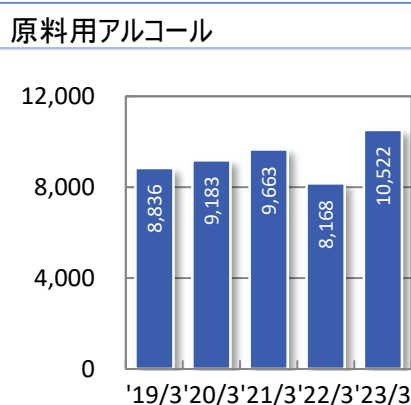
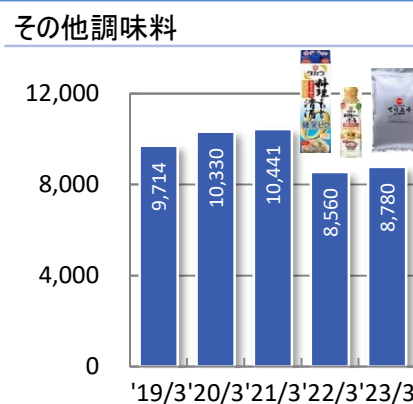
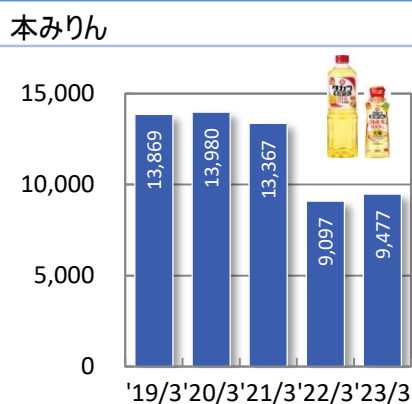
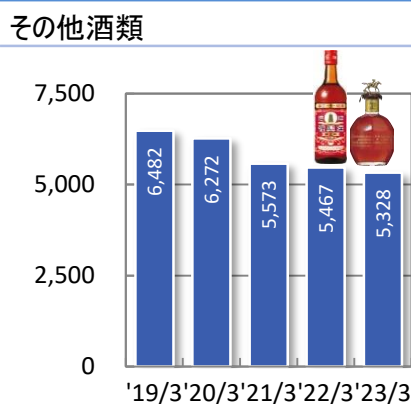
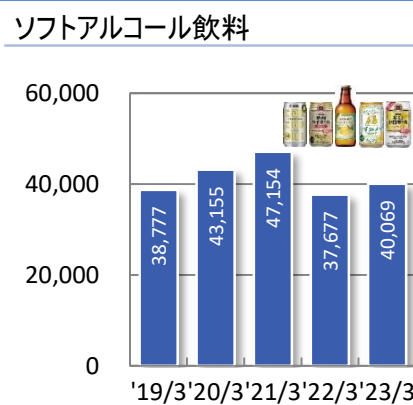
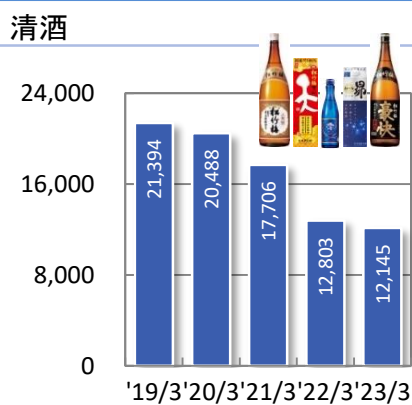
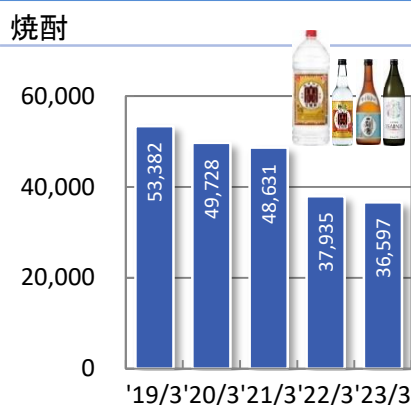


●業績推移 (単位:百万円)



◆カテゴリ別売上高推移

(単位:百万円)



※2022年3月期より、収益認識に関する会計基準等の適用に伴い、従来販売費及び一般管理費で処理していた費用の一部を売上高から控除しております。

◆宝酒造の歩み

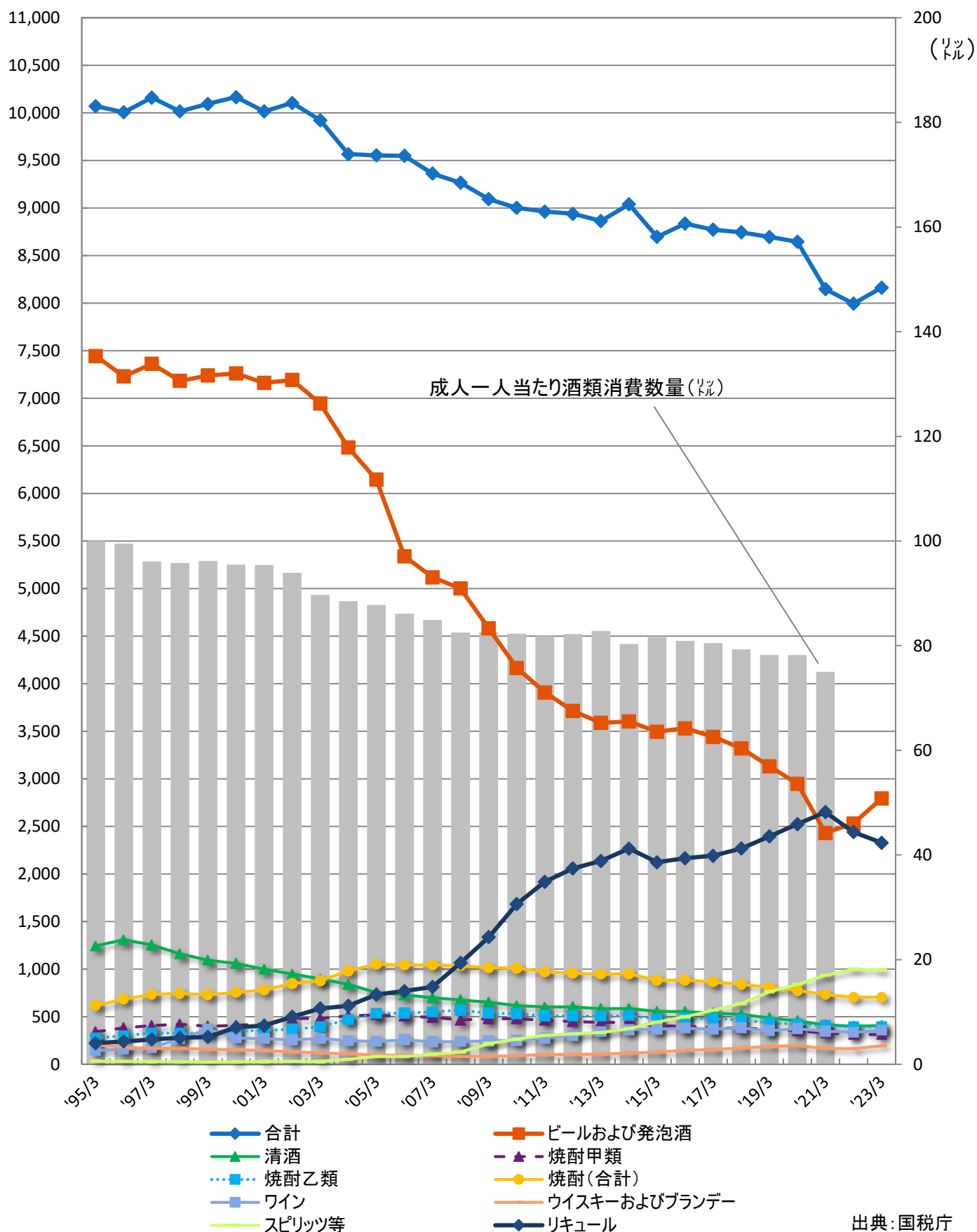
年 year	商品展開 Product History	業界の動き Alcohol Market Trends
1842	創業(清酒の製造・販売を開始)	
1864	焼酎・みりんの製造を開始	
1916	新式焼酎「寶焼酎」の製造を開始	
1933	松竹梅酒造を設立	
1957	ビール事業に参入 (1967年に撤退)	
1959		ビールの消費量が清酒を上回る
1968	松竹梅「たけ」を発売、よろこびの清酒「松竹梅」躍進	
1975		清酒の消費量がピークに
1977	宝焼酎「純」を発売	
1982	米国で清酒製造を開始	チューハイブームの兆し
1984	「タカラCANチューハイ」を発売	焼酎の消費量がウイスキーを上回る
1993	本格焼酎「よかいち」を発売	
2000		本格焼酎ブームの兆し
2001	全量芋焼酎「一刻者」を発売	
2002		芋焼酎ブームの到来
2003		焼酎の消費量が清酒を上回る 酒類販売免許が実質自由化
2006	タカラ「焼酎ハイボール」を発売	
2011	松竹梅白壁蔵「霽」スパークリング清酒を発売	
2017		レモンサワーブームの到来
2020		巣ごもり需要の拡大
2021	タカラcanチューハイ「すみか」を発売	
2022	6月、10月に価格改定を実施	原材料、燃料の高騰を受け、 多くの酒類、食品メーカーが値上
	タカラ「辛口ゼロボール」を発売	



国内酒類市場データ

◆酒類課税数量推移①

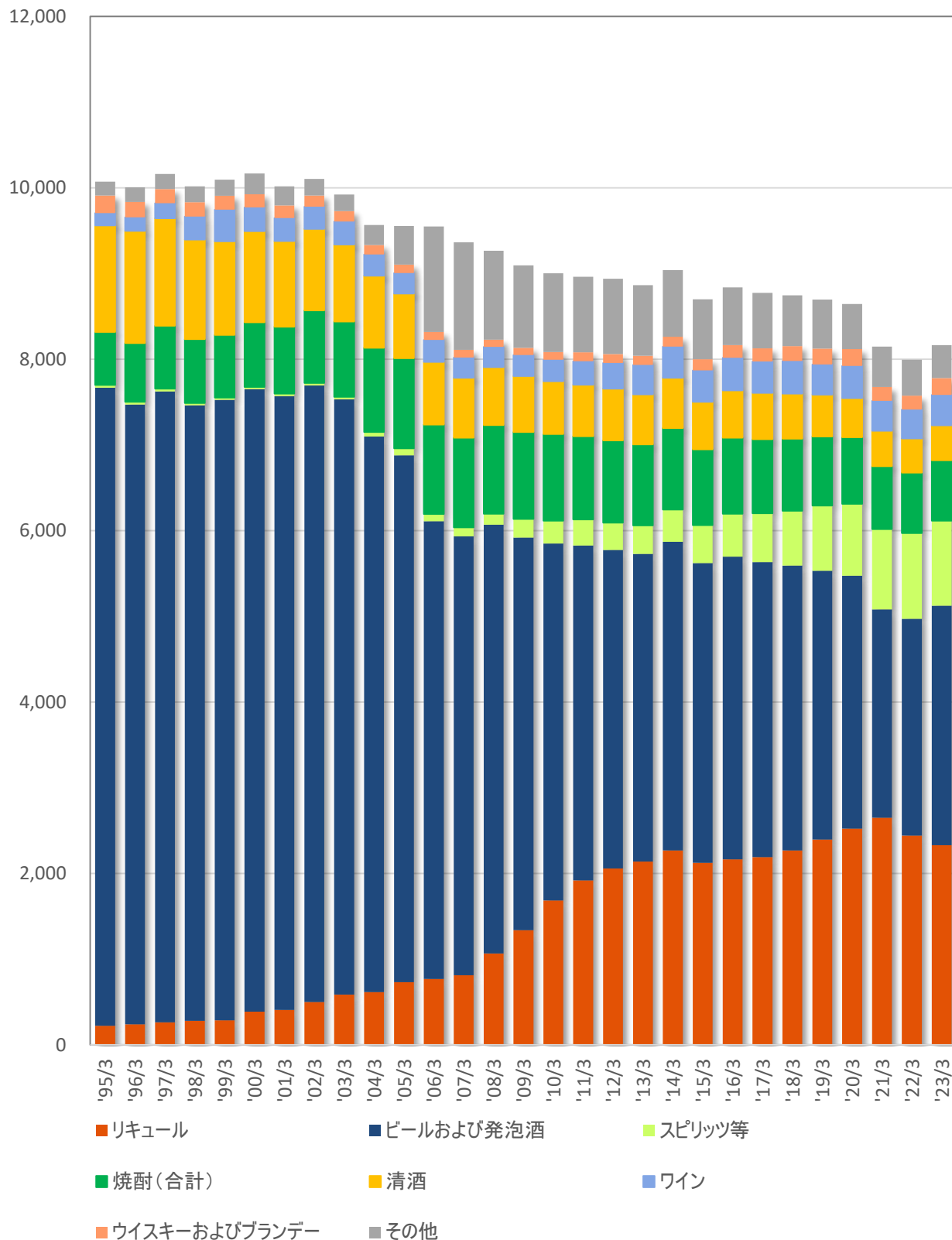
(単位:千キロリットル)



出典: 国税庁

◆酒類課税数量推移②

(単位:千キロリットル)



出典:国税庁

◆酒税の税率(2023年3月現在)

(単位:円)

区分	税率 (1キロリットル当たり)	アルコール分1度 あたりの加算額
発泡性酒類(ビール等)	200,000	-
発泡酒(麦芽比率25%~50%未満)	178,125	-
発泡酒(麦芽比率25%未満)	134,250	-
その他の発泡性酒類(いわゆる「新ジャンル」)	108,000	-
その他の発泡性酒類(ホップ等を原料としたものを除く)	80,000	-
醸造酒類	120,000	-
清酒	110,000	-
果実酒	90,000	-
蒸留酒類(焼酎等)(アルコール分20度)	200,000	10,000
ウイスキー・ブランデー・スピリッツ(アルコール分37度)	370,000	10,000
混成酒類(アルコール分20度)	200,000	11,000
合成清酒	100,000	-
みりん	20,000	-
甘味果実酒・リキュール(アルコール分12度)	120,000	10,000
粉末酒	390,000	-

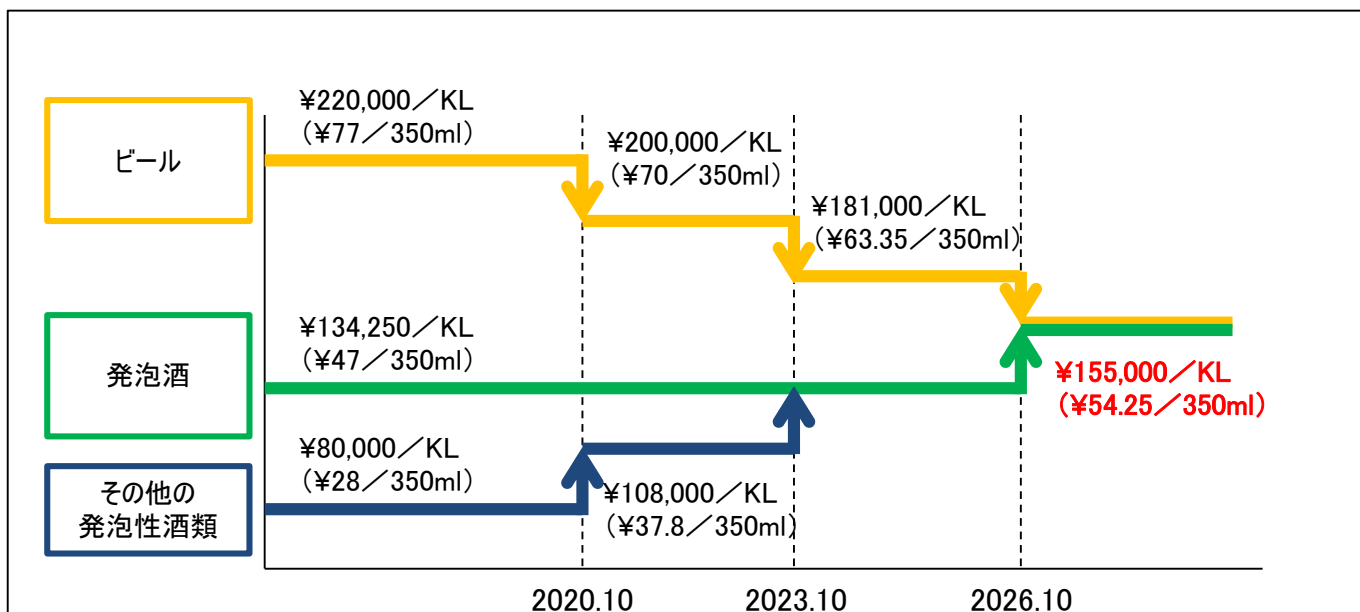
◆製品1本あたりの酒税額(2023年3月現在)

区分	製品名	容量	アルコール分	参考小売価格 (消費税抜)	酒税額
焼酎	宝焼酎	1.8リットル	25度	1,450円	450円
清酒	上撰松竹梅	1.8リットル	15度	1,973円	198円
ソフトアルコール飲料	タカラcanチューハイ	350ミリリットル	8度	222円	28円
	ビール	350ミリリットル	5度	-	70円
	発泡酒(麦芽比率25%未満)	350ミリリットル	5.5度	-	47円
	その他の発泡性酒類(新ジャンル)	350ミリリットル	5度	-	37.8円

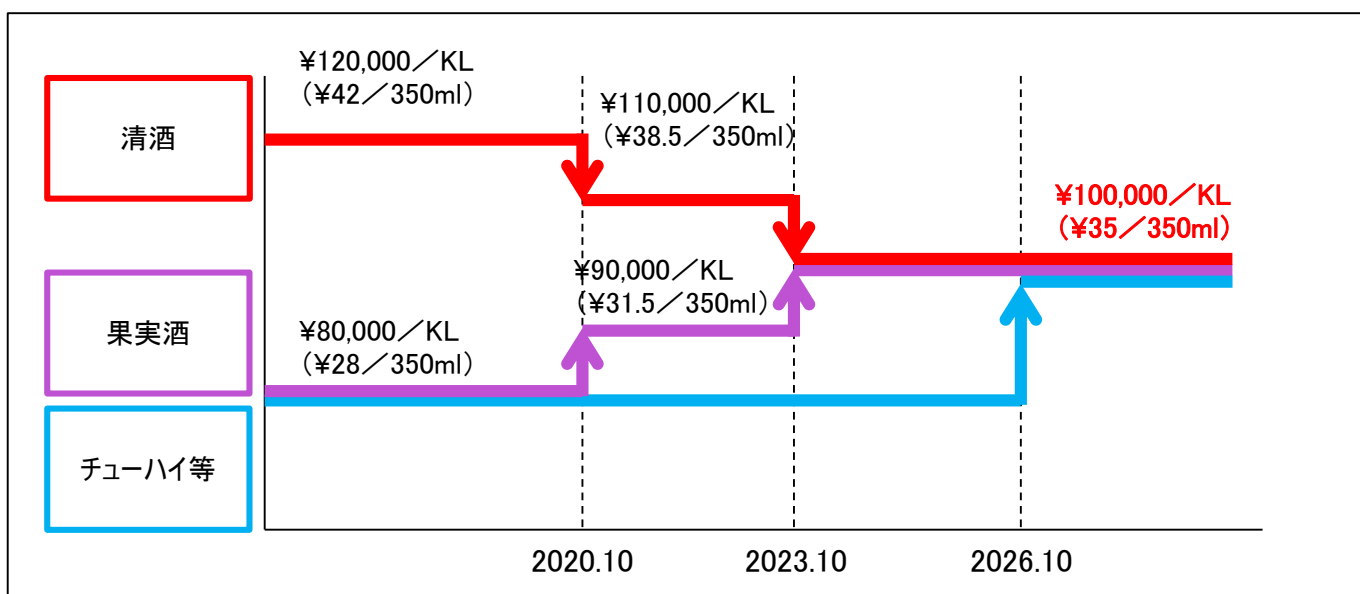
◆酒税改正について

2016年12月に「平成29年度税制改正大綱」がまとまり、ビール類や清酒・ワイン間の酒税額をそれぞれ一本化する方針を決定し、2017年3月に成立しました。税率の見直しは2020年10月、2023年10月、2026年10月の3段階で実施していますが、税率見直しの都度、経済状況を踏まえ、家計に与える影響などを勘案した上で行うとしています。

●ビール類



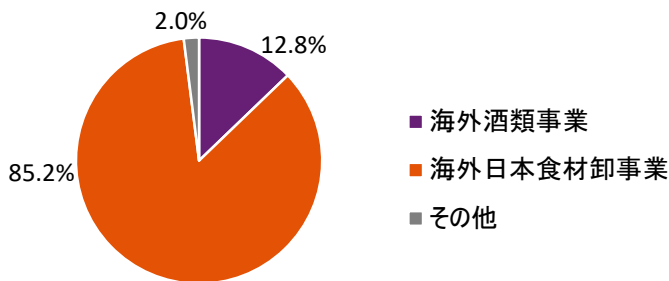
●清酒、果実酒、チューハイ等



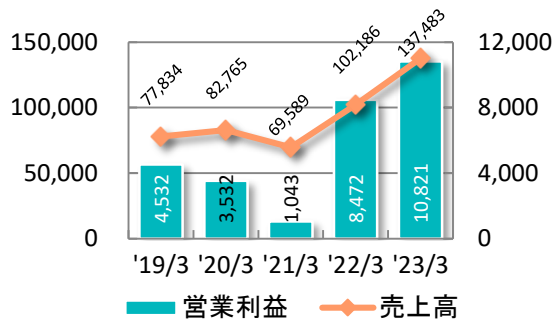
◆売上構成比および業績推移

2023年3月期

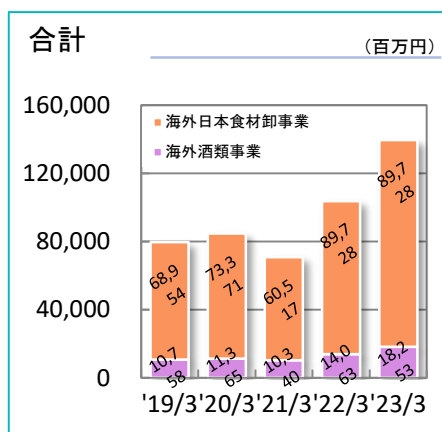
●売上構成比 ※連結消去前



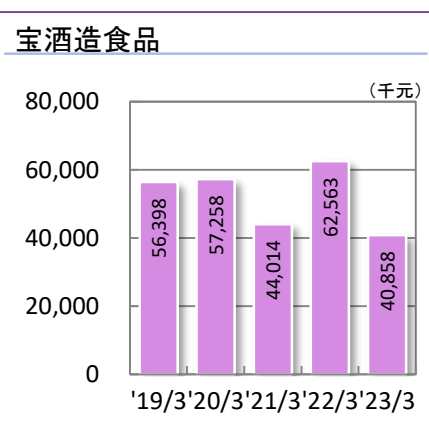
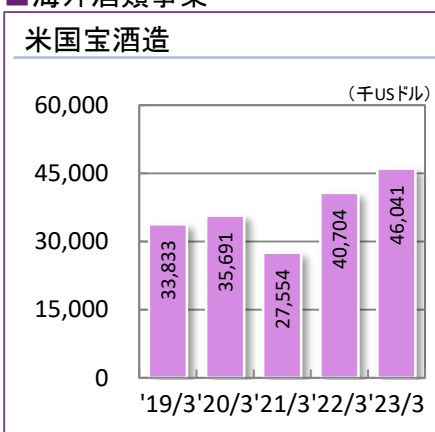
●業績推移 (単位:百万円)



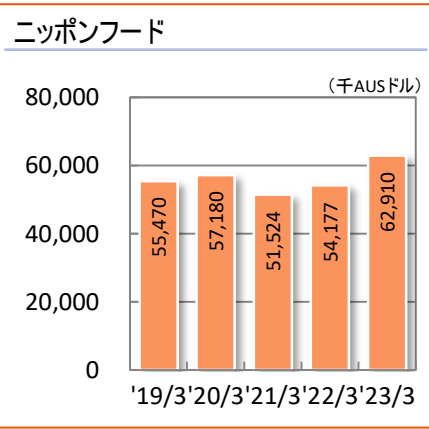
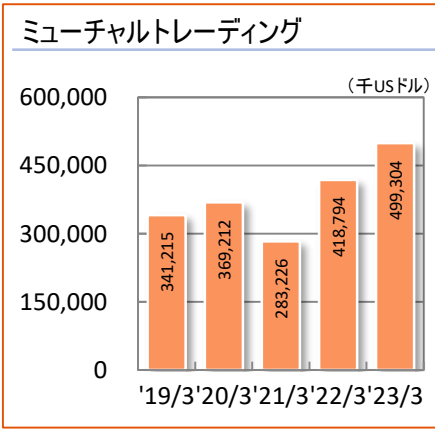
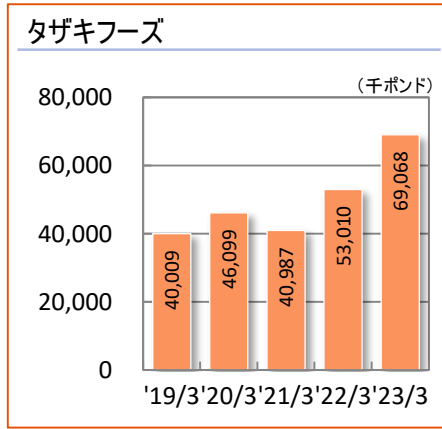
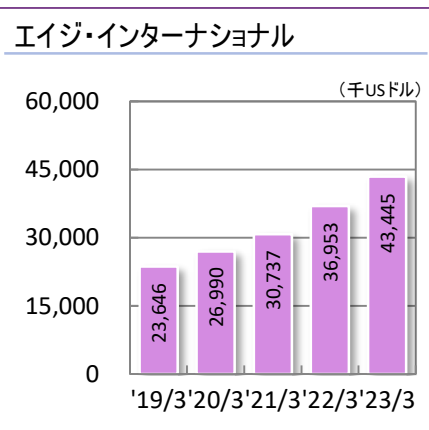
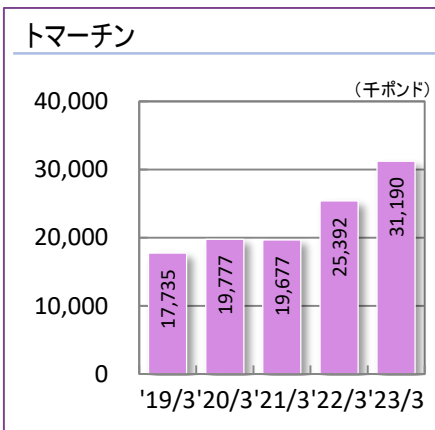
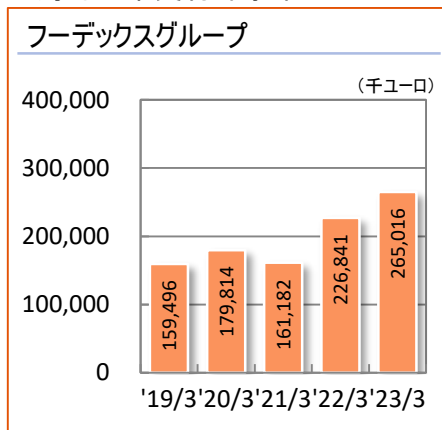
◆カテゴリー別売上高推移



■海外酒類事業



■海外日本食材卸事業



◆宝酒造インターナショナルグループの歩み

■ : 海外酒類事業
 ■ : 海外日本食材卸事業

年 year	沿革 Development of Takara International Group
1951	■ 北米向けに清酒「松竹梅」の輸出を開始
1983	■ 米:米国宝酒造設立。清酒「松竹梅」の現地製造・販売を開始
1986	■ 英:トマーチン社を設立。 現地メーカーの資産を取得しスコッチウイスキーの製造を開始
1991	■ 米:エイジ・インターナショナル社に資本参加。 (その後、株式の追加取得し子会社化)
1995	■ 中:宝酒造食品有限公司を設立
2010	■ 仏:フーデックス社の株式を取得し、連結子会社化。 海外日本食材卸事業に参入
2013	■ 英:タザキフーズ社を連結子会社化
2014	■ 西:コミンポート社を連結子会社化
2016	■ 葡:ケタフーズ社を連結子会社化
	■ 米:ミューチャルトレーディング社を連結子会社化
2017	■ 豪:ニッポンフード社を連結子会社化
	宝酒造の海外事業を分社化し、宝酒造インターナショナル株式会社を設立
2020	■ 日:東京共同貿易株式会社を連結子会社化
2022	■ 英:タザキ・キャッシュ&キャリア社を設立
	■ 西:アマラン社を連結子会社化
	■ 米:ケーシートレーディング社を連結子会社化
2023	■ 米:ヤマショウ社を連結子会社化
	■ 加:オンタリオ社を連結子会社化

海外酒類事業の育成

海外日本食材卸事業の拡大

◆事業概要

海外酒類事業

日本からの輸出および海外での現地生産により、清酒「松竹梅」等の自社ブランドを世界各地域で提供しています。

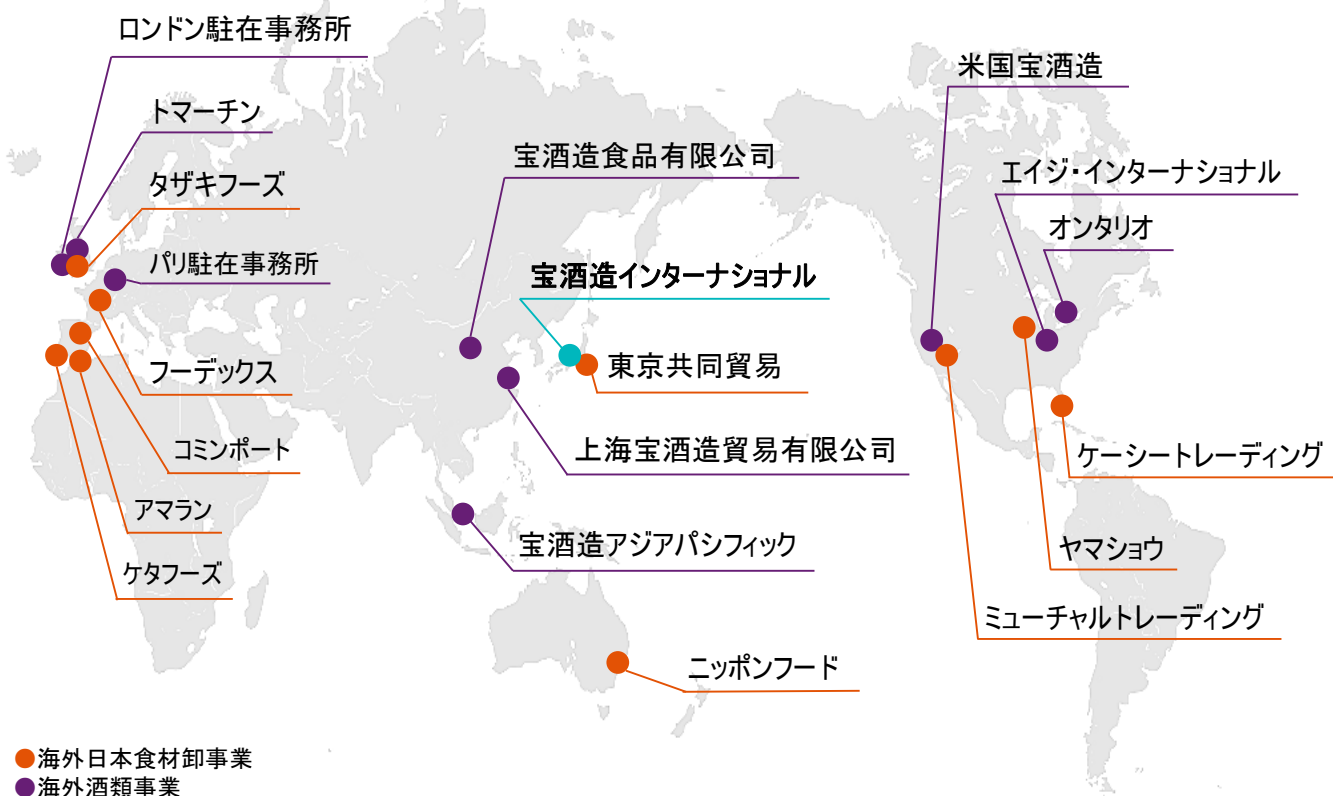


海外日本食材卸事業

欧州や米国、オーストラリアの現地卸会社をパートナーに、コメや寿司ネタをはじめとする日本食材や調味料を、日本食レストランなどに供給しています。



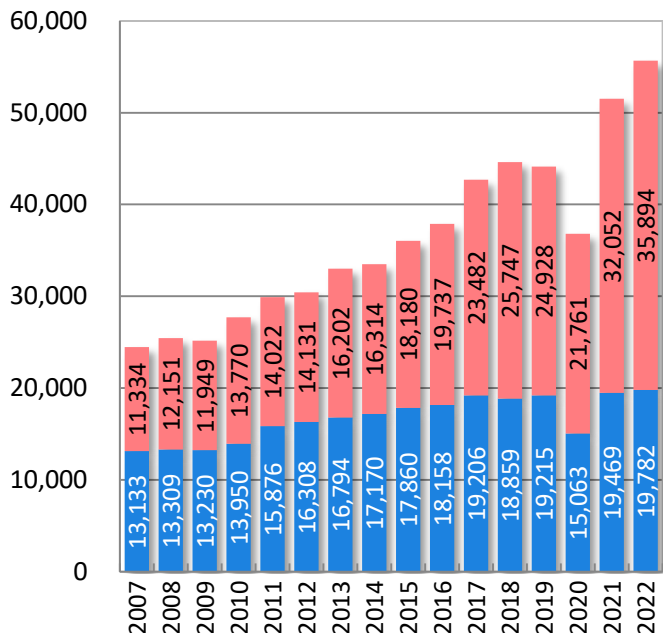
◆主な海外拠点



◆海外市場の動向

●海外清酒市場の動向

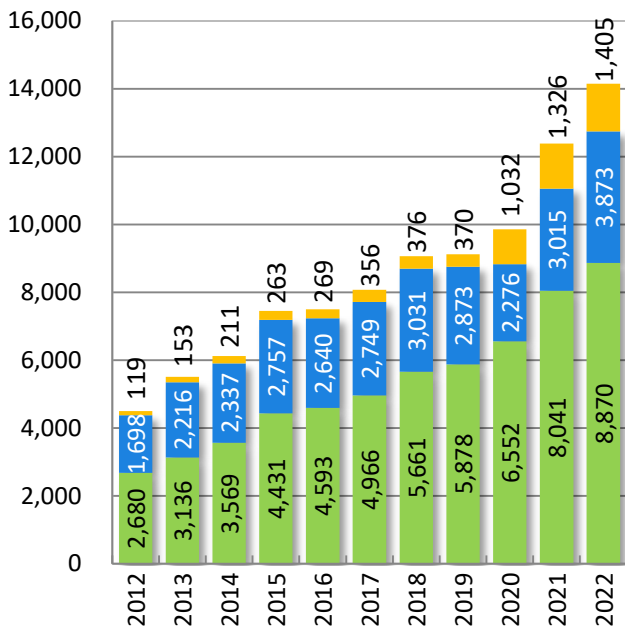
(千口) ■ 現地生産 ■ 輸出



〈出典〉(輸出)財務省、(現地生産)醸造産業新聞社

●日本の農産物・食品の輸出推移

(億円) ■ 農産物 ■ 水産物 ■ その他

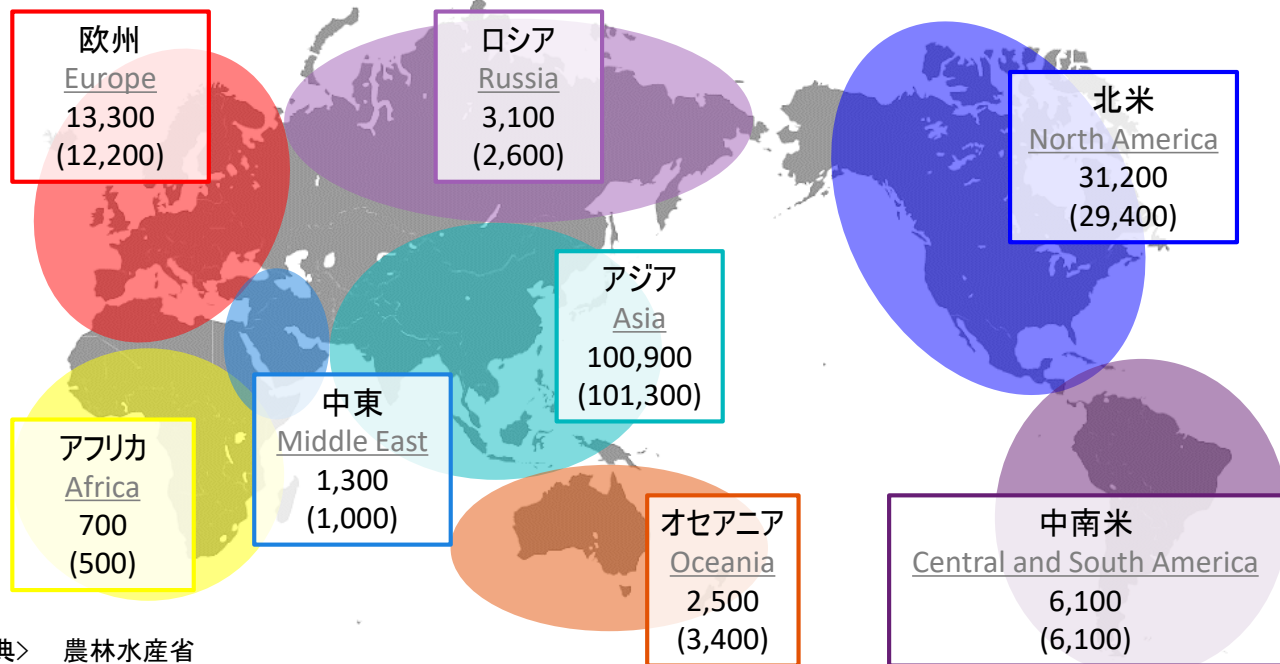


〈出典〉農林水産省

●世界の日本食レストラン店舗数の推移

〈2006〉約24,000店 → 〈2013〉約55,000店 → 〈2015〉約89,000店 → 〈2017〉約118,000店 → 〈2019〉約156,000店 → 〈2021〉約159,000店

* 図中上段は2021年の店舗数、下段カッコ内は2019年の店舗数

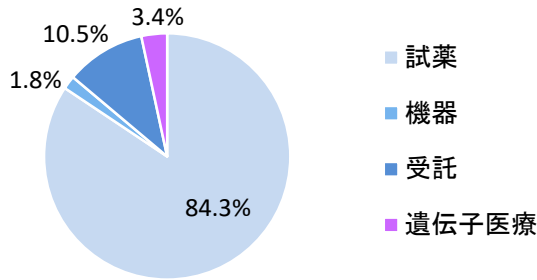


〈出典〉農林水産省

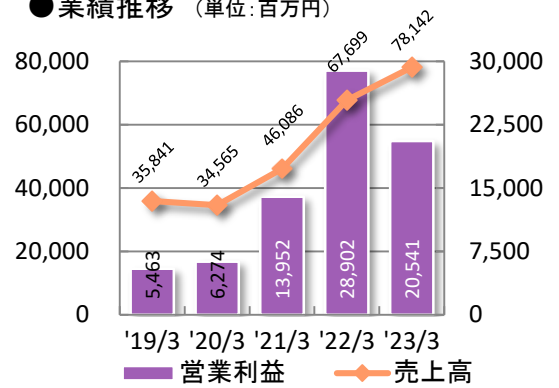
◆ 売上構成比および業績推移(※)

2023年3月期

● 売上構成比



● 業績推移 (単位: 百万円)

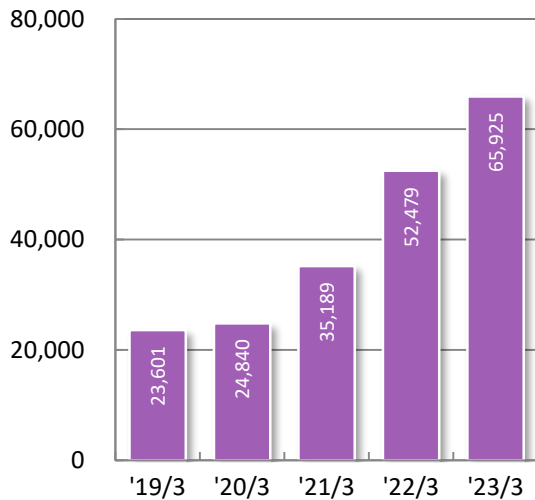


◆ カテゴリー別売上高推移(※)

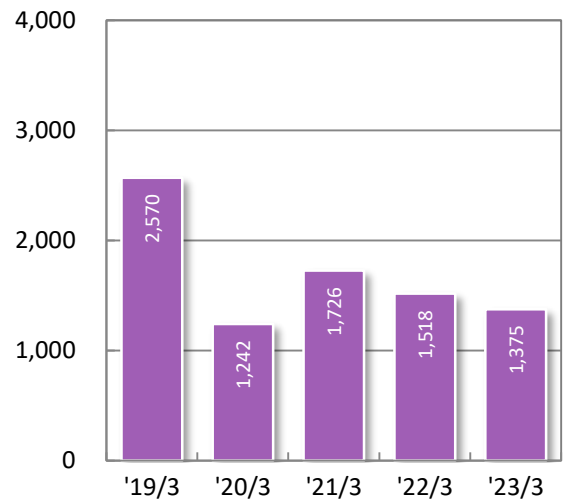
(単位: 百万円)

※タカラバイオグループは、組織体制の見直しにともない、2021年3月期より単一の事業セグメントに変更しており、本資料のカテゴリー区分は、決算短信に記載している区分です。

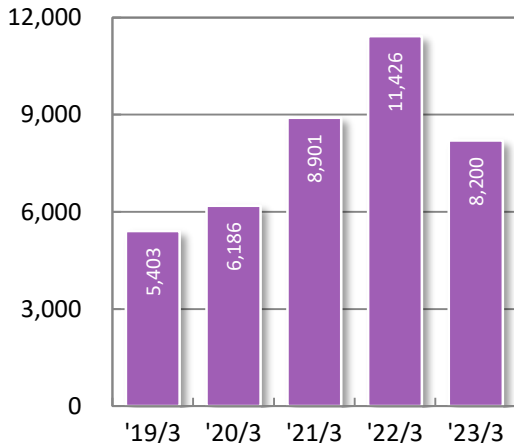
■ 試薬



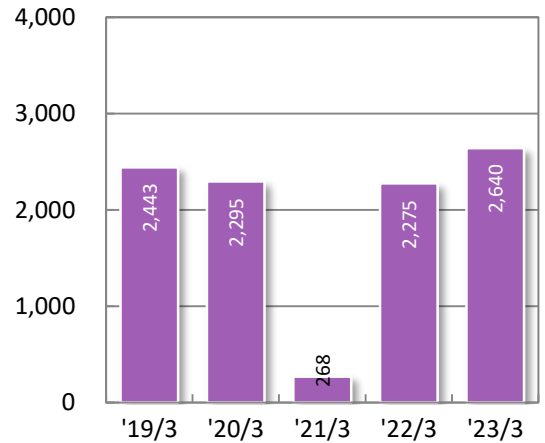
■ 機器



■ 受託



■ 遺伝子医療



◆タカラバイオグループ「中期経営計画2025」 2024年3月期～2026年3月期



定量目標(2026年3月期)

- 営業利益 150億円
- ROE 8%以上

KPI(2026年3月期)

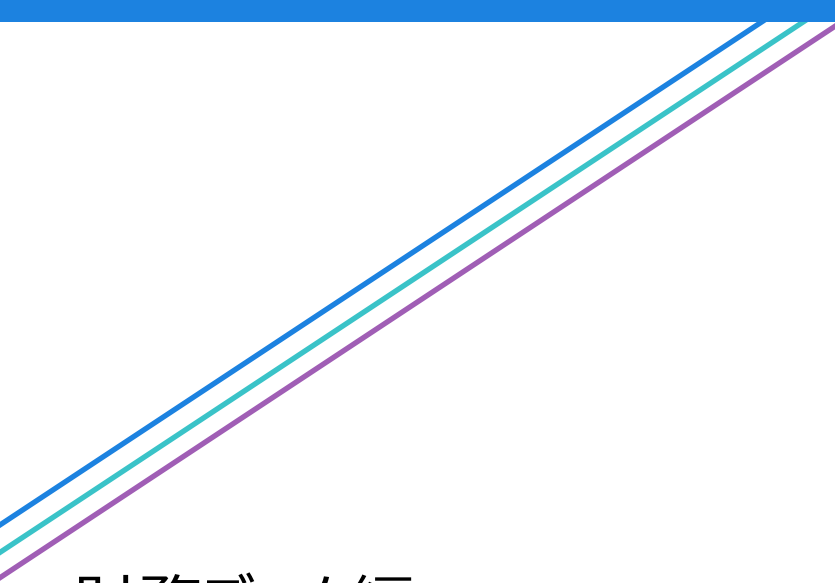
- 売上高 681億円
- 研究開発費 90億円

事業戦略

- ライフサイエンス産業におけるインフラを担う グローバル・プラットフォーマーとしての地位の確立
- グローカルな製造・マーケティング体制の整備
- 品質管理工程の堅牢化・効率化と製造技術力の強化
- 創薬基盤技術の価値最大化
- 研究開発プロジェクトの選択と集中による 新製品/サービスの開発スピードの加速

経営基盤強化戦略

- 成長・強化領域への積極的な投資と適切な株主還元によるROEの向上(財務)
- 会社と従業員のつながりを深め、強固な成長基盤の構築(人・組織)
- 持続可能な社会の実現と当社グループの持続的な成長の両立(社会的価値)



財務データ編

Financial Data

業績推移

連結財務諸表/主要財務指標

Financial Results

Consolidated Financial Statements

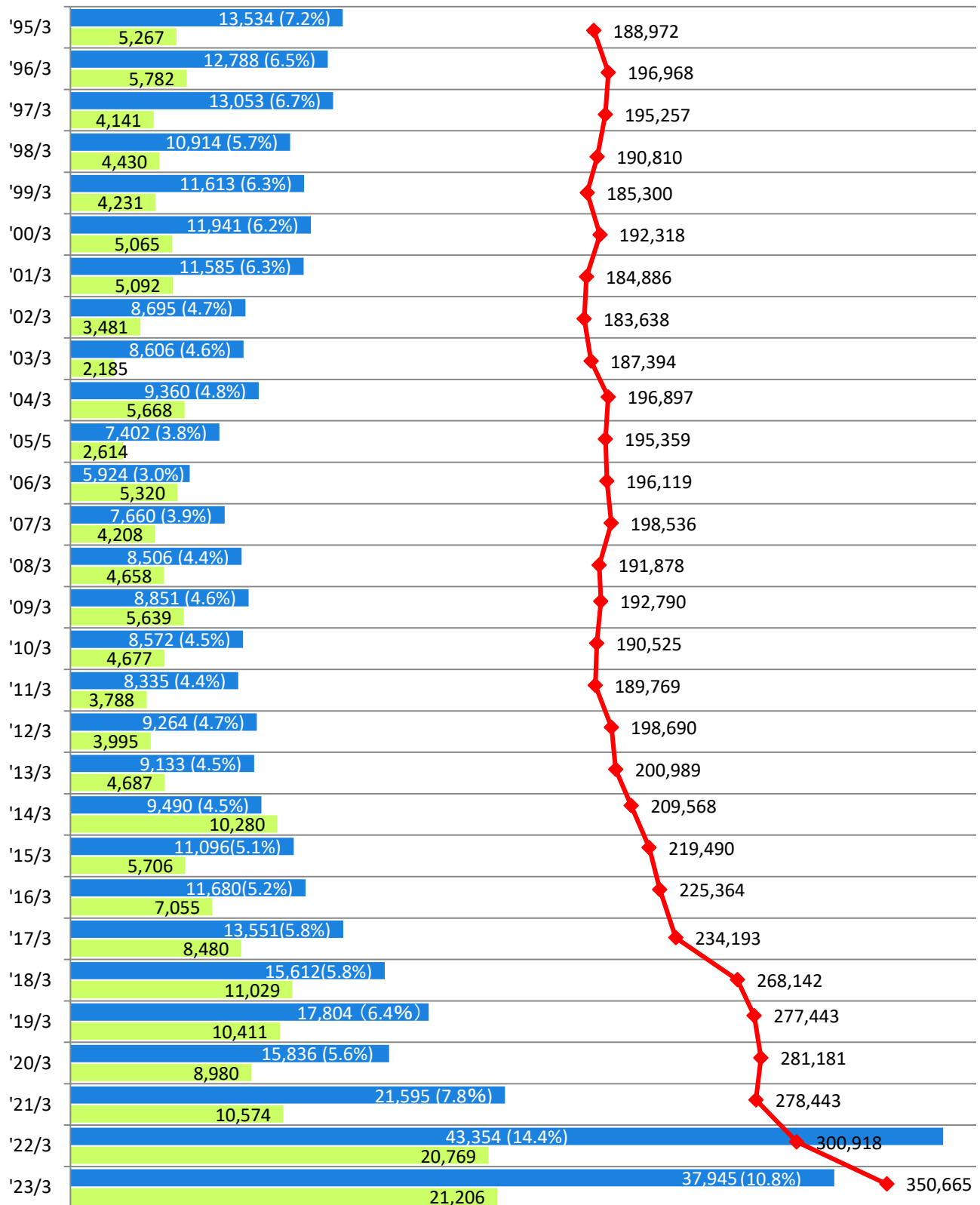
/ Major Financial Indicators



◆宝ホールディングス(連結)

Takara Holdings Inc. (consolidated)

(単位: 百万円)
(Millions of yen)



■ 営業利益 (営業利益率)
 ■ 親会社に帰属する当期純利益
 ◆ 売上高
Operating income (Operating income margin) Net income attributable to owners of the parent Net sales

※2022年3月期より、収益認識に関する会計基準等の適用に伴い、従来販売費及び一般管理費で処理していた費用の一部を売上高から控除しております。

2002年4月 持株会社体制への移行により「宝酒造株式会社」を新設

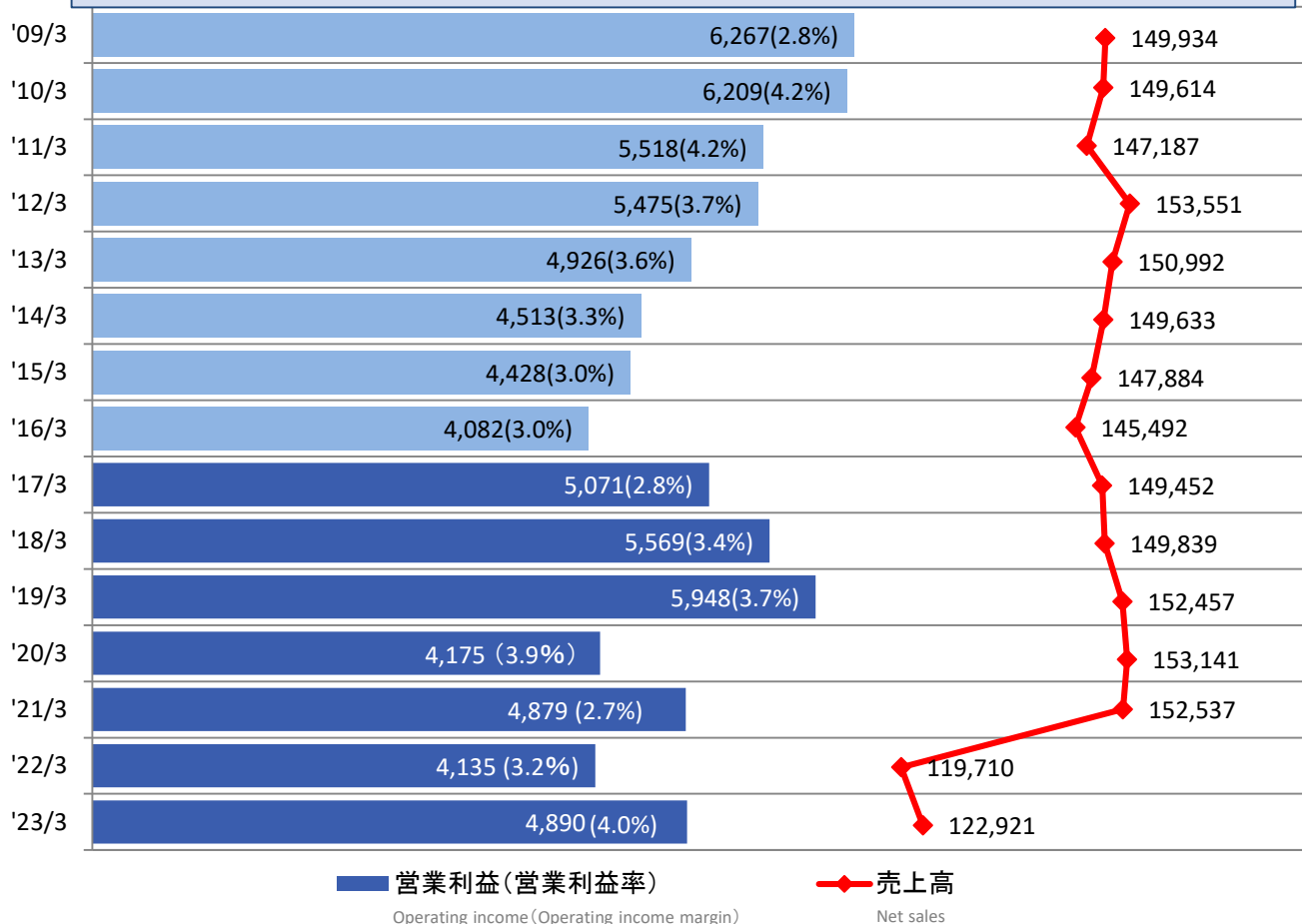
Restructured to a holding company structure and established Takara Shuzo Co., Ltd. In April 2002

2017年4月 宝酒造インターナショナルの設立に伴い事業セグメントを変更

(2016年3月期以前の数値は参考値)

With the establishment of Takara Shuzo International Co., Ltd., business segments have been revised from the fiscal year ending March 31, 2018.

(Figures before the fiscal year ended March 2016 are reference values.)

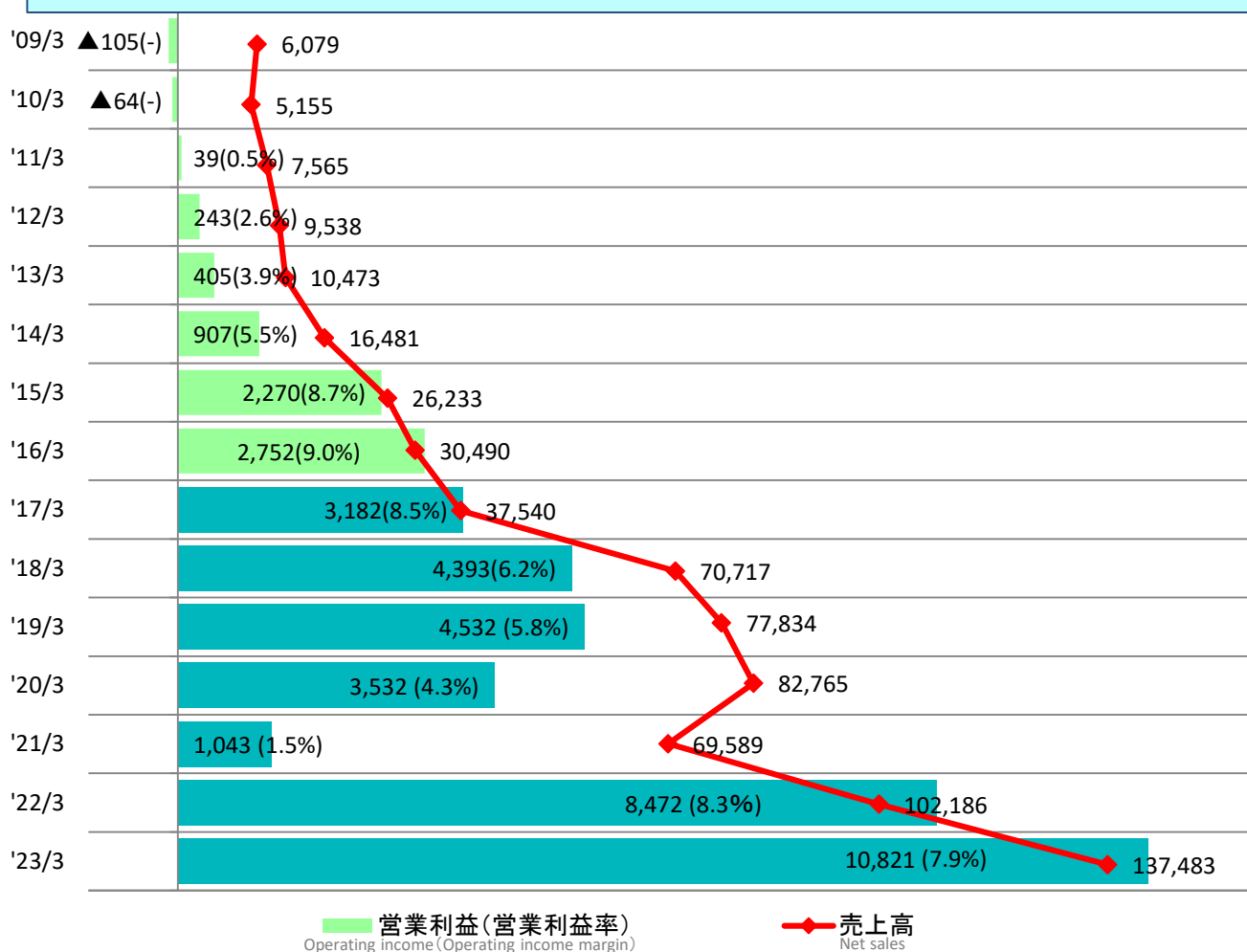


※2022年3月期より、収益認識に関する会計基準等の適用に伴い、従来販売費及び一般管理費で処理していた費用の一部を売上高から控除しております。

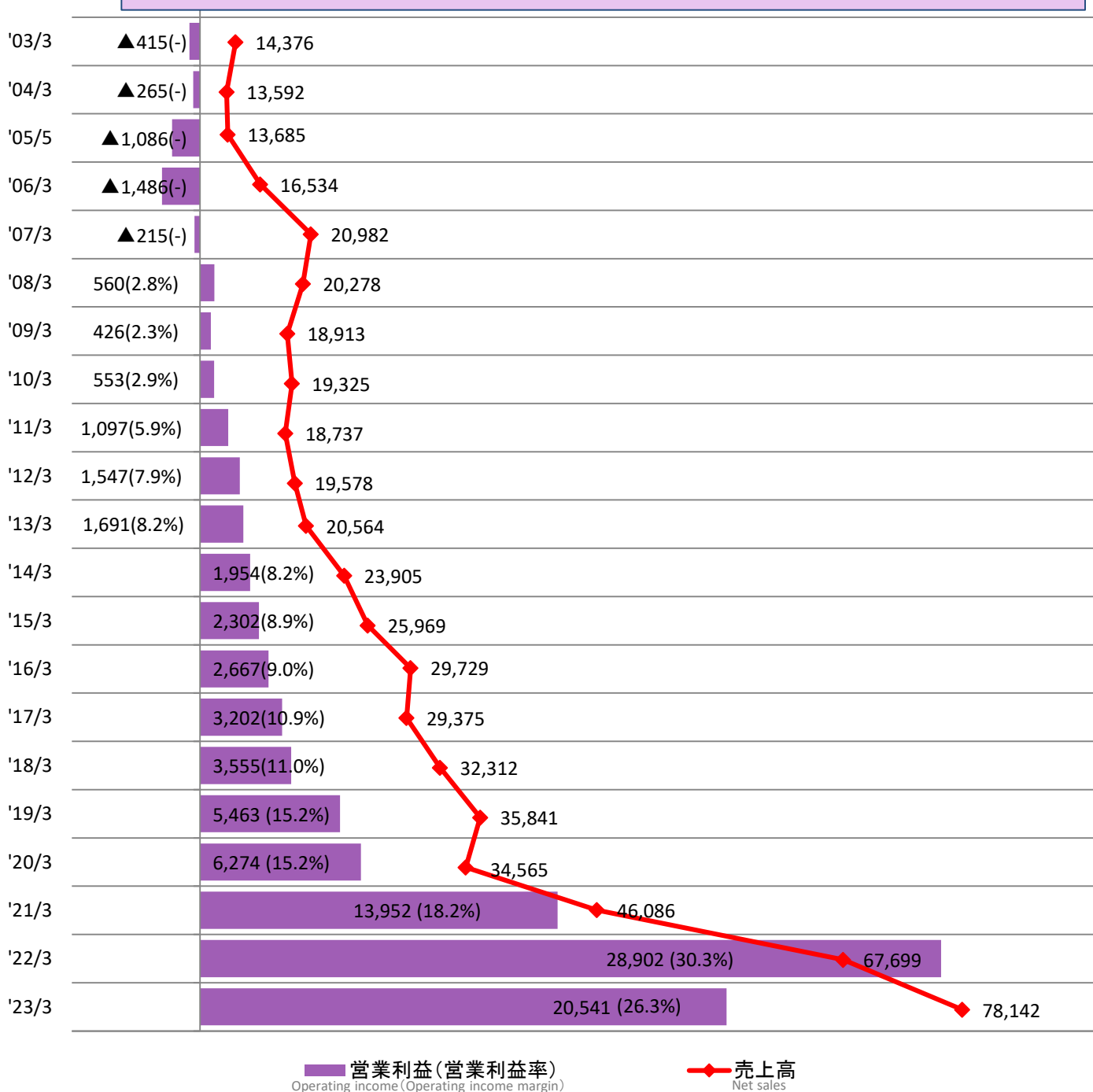
2002年4月 持株会社体制への移行により「宝酒造株式会社」を新設
Restructured to a holding company structure and established Takara Shuzo Co., Ltd. In April 2002

2017年4月 宝酒造インターナショナルの設立に伴い事業セグメントを変更
(2016年3月期以前の数値は参考値)

With the establishment of Takara Shuzo International Co., Ltd., business segments have been revised from the fiscal year ending March 31, 2018.
(Figures before the fiscal year ended March 2016 are reference.)



2002年4月 持株会社体制への移行により「タカラバイオ株式会社」を新設
Restructured to a holding company structure and established Takara Bio Inc. In April 2002



営業利益(営業利益率)
Operating income (Operating income margin)

売上高
Net sales

◆連結貸借対照表

Consolidated Balance Sheets

(単位:百万円)

(Millions of yen)

3月31日現在 As of March 31	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
流動資産 Total current assets	171,067	175,011	168,820	183,108	232,323	241,513
現金及び預金 Cash and deposits	47,754	49,415	47,265	66,238	80,445	96,820
受取手形及び売掛金 Notes and accounts receivable-trade	57,889	59,780	61,017	61,954	70,260	69,717
有価証券 Short-term investment securities	19,721	16,089	7,352	1,145	1,179	459
棚卸資産 Inventories	42,909	46,035	48,976	49,124	72,643	66,904
その他 Other	2,793	3,690	4,207	4,645	7,794	7,611
固定資産 Total noncurrent assets	113,213	112,094	115,061	123,810	130,114	157,661
有形固定資産 Property, plant and equipment	57,485	60,576	69,835	74,740	79,747	88,890
無形固定資産 Intangible assets	22,269	19,914	18,700	15,889	15,360	15,931
投資その他の資産 Investments and other assets	33,458	31,603	26,525	33,180	35,006	52,838
資産合計 Total assets	284,281	287,106	283,882	306,918	362,438	399,174
流動負債 Total current liabilities	52,712	57,822	55,466	56,269	79,151	67,454
支払手形及び買掛金 Notes and accounts payable-trade	16,544	16,374	16,440	16,481	20,973	21,775
短期借入金・CP等 Short-term loans payable and Current portion of bonds	5,221	9,960	4,787	5,166	15,497	4,919
その他 Other	30,944	31,485	34,238	34,622	42,679	40,759
固定負債 Total noncurrent liabilities	55,352	49,489	47,086	59,113	58,730	76,401
社債 Bonds payable	25,000	25,000	20,000	20,000	20,000	20,000
長期借入金 Long-term loans payable	10,620	5,415	5,448	15,465	15,248	15,186
その他 Other	19,730	19,073	21,637	23,648	23,480	41,213
負債合計 Total liabilities	108,064	107,311	102,553	115,383	137,882	143,856
株主資本 Total shareholder's equity	131,649	139,064	142,563	149,020	163,976	177,363
その他包括利益累計額合計 Total accumulated other comprehensive income	13,461	9,133	5,199	7,863	16,443	26,588
非支配株主持分 Noncontrolling interests	31,106	31,597	33,566	34,650	44,135	51,366
純資産合計 Total net assets	176,217	179,795	181,329	191,535	224,555	255,318
負債純資産合計 Total liabilities and net assets	284,281	287,106	283,882	306,918	362,438	399,174
為替換算レート(期末(12月)時点) Exchange rates as of the end of the fiscal year						
米ドル US dollar	113.05	110.91	108.83	103.24	115.02	132.70
ユーロ EURO	134.95	126.88	119.65	126.08	130.52	141.44
人民元 Yuan	17.30	16.14	15.30	15.82	18.07	19.02

◆連結損益計算書

Consolidated Statements of Income

(単位:百万円)
(Millions of yen)

3月31日終了の会計年度 Years ended March 31	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
宝酒造 Takara Shuzo	149,839	152,457	153,141	152,537	119,710	122,921
宝酒造インターナショナルグループ Takara Shuzo International Group	70,717	77,834	82,765	69,589	102,186	137,483
タカラバイオグループ Takara Bio Group	32,312	35,841	34,565	46,086	67,699	78,142
その他 Other	36,412	32,742	31,801	29,238	30,719	30,950
調整額 Adjustment	(21,140)	(21,431)	(21,082)	(19,007)	(19,396)	(18,832)
売上高 Net sales	268,142	277,443	281,191	278,443	300,918	350,665
売上原価 Cost of sales	163,529	168,694	172,574	162,849	187,376	230,723
売上総利益 Gross profit	104,612	108,749	108,617	115,594	113,541	119,941
販売費及び一般管理費 Selling, general and administrative expenses	88,999	90,945	92,781	93,999	70,187	81,996
宝酒造 Takara Shuzo	5,569	5,948	4,175	4,879	4,135	4,890
宝酒造インターナショナルグループ Takara Shuzo International Group	4,393	4,532	3,532	1,043	8,472	10,821
タカラバイオグループ Takara Bio Group	3,555	5,463	6,274	13,952	28,902	20,541
その他 Other	2,318	1,954	2,018	1,803	2,222	2,293
調整額 Adjustment	(224)	(95)	(164)	(84)	(379)	(601)
営業利益 Operating income	15,612	17,804	15,836	21,595	43,354	37,945
営業外収益 Non-operating income	1,408	1,461	1,458	1,311	1,492	1,678
営業外費用 Non-operating expenses	936	905	1,025	976	1,615	917
経常利益 Ordinary income	16,084	18,359	16,269	21,929	43,230	38,706
特別利益 Extraordinary gain	3,499	696	1,473	529	4,658	1,681
特別損失 Extraordinary loss	679	1,397	2,099	1,875	6,928	694
税金等調整前当期純利益 Income before income taxes and minority interests	18,903	17,658	15,643	20,583	40,961	39,692
法人税等 Income taxes	6,374	5,311	4,952	6,326	11,591	11,001
当期純利益 Net income	12,528	12,347	10,691	14,256	29,370	28,690
非支配株主に帰属する当期純利益 Net income attributable to the noncontrolling interest	1,499	1,936	1,710	3,682	8,601	7,483
親会社株主に帰属する当期純利益 Net income attributable to owners of the parent	11,029	10,411	8,980	10,574	20,769	21,206
為替換算レート(期中平均レート) Average exchange rates during the fiscal year						
米ドル US dollar	108.81	112.17	110.45	109.03	106.77	131.64
ユーロ EURO	120.30	126.70	130.35	122.03	121.88	138.15
人民元 Yuan	16.36	16.62	16.71	15.77	15.48	19.50

※2022年3月期より、収益認識に関する会計基準等の適用に伴い、従来販売費及び一般管理費で処理していた費用の一部を売上高から控除しております。

◆連結キャッシュ・フロー計算書

Consolidated Statements of Cash Flows

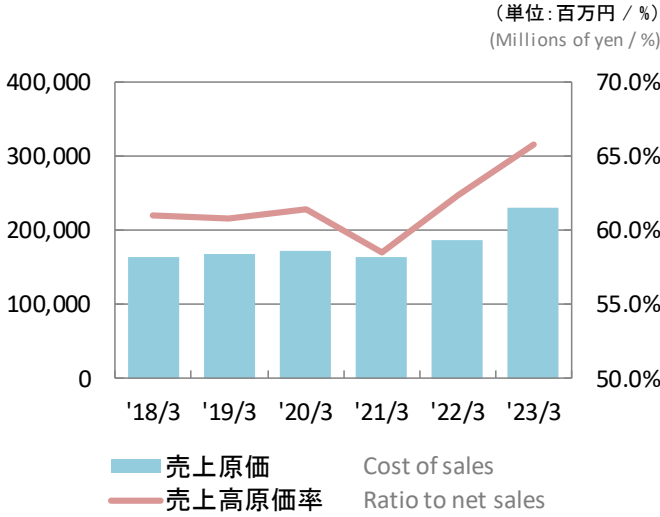
(単位:百万円)
(Millions of yen)

3月31日終了の会計年度 Years ended March 31	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
営業活動によるキャッシュ・フロー Net cash provided by (used in) operating activities	16,265	13,508	11,744	27,100	16,376	45,478
税金等調整前当期純利益 Income before income taxes and minority interests	18,903	17,658	15,643	20,583	40,961	39,692
減価償却費 Depreciation and amortization	6,430	6,490	7,626	8,069	8,425	9,118
売上債権の増減額(():増加額) Decrease (increase) in notes and accounts receivable-trade	(240)	(2,900)	(1,291)	(1,162)	(7,109)	2,634
たな卸資産の増減額(():増加額) Decrease (increase) in inventories	(2,520)	(5,060)	(3,159)	(691)	(21,235)	8,969
仕入債務の増減額(():減少額) Increase (decrease) in notes and accounts payable-trade	(10)	324	(340)	40	3,920	(252)
法人税等の支払額 Income taxes paid	(6,017)	(6,586)	(4,955)	(4,767)	(10,253)	(15,535)
その他 Other, net	(279)	3,582	(1,778)	5,028	1,667	852
投資活動によるキャッシュ・フロー Net cash provided by (used in) investing activities	(19,916)	(9,213)	(3,690)	(6,738)	(10,399)	(10,474)
有形・無形固定資産の取得による支出 Purchase of property, plant and equipment and intangible assets	(6,601)	(10,671)	(12,121)	(13,911)	(14,762)	(10,618)
有形・無形固定資産の売却による収入 Proceeds from sales of property, plant and equipment and intangible assets	480	444	71	28	1,326	430
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 Purchase of investments in subsidiaries resulting in change in scope of consolidation	(12,396)	(53)	350	0	0	(1,068)
その他 Other, net	(1,399)	1,067	8,008	7,145	3,037	782
財務活動によるキャッシュ・フロー Net cash provided by (used in) financing activities	(5,570)	(4,243)	(11,628)	(1,506)	4,133	(22,215)
社債の発行及び長期借入れによる収入 Proceeds from bonds and long-term loans payable	14,887	0	100	10,068	9,927	0
社債の償還及び長期借入金の返済による支出 Repayments of bonds and long-term loans payable	(11,406)	(304)	(5,160)	(60)	(55)	(10,363)
自己株式の取得による支出 Purchase of treasury stock	(2,001)	(0)	(2,000)	0	0	0
配当金の支払額 Cash dividends paid	(2,614)	(3,191)	(3,589)	(3,951)	(4,147)	(7,305)
その他 Other, net	(4,436)	(746)	(1,003)	(7,563)	(1,592)	(4,547)
現金及び現金同等物に係る換算差額 Effect of exchange rate changes on cash and cash equivalents	(202)	(812)	(439)	(536)	2,758	3,267
現金及び現金同等物の増減額 Net increase (decrease) in cash and cash equivalents	(9,423)	(760)	(4,039)	18,319	12,869	16,056
現金及び現金同等物の期首残高 Cash and cash equivalents at beginning of period	58,765	49,341	48,580	44,541	62,860	75,729
現金及び現金同等物の期末残高 Cash and cash equivalents at end of period	49,341	48,580	44,541	62,860	75,729	91,785
為替換算レート(期中平均レート) Average exchange rates during the fiscal year						
米ドル US dollar	112.17	110.45	109.03	106.77	109.90	131.64
ユーロ EURO	126.70	130.35	122.03	121.88	129.91	138.15
人民元 Yuan	16.62	16.71	15.77	15.48	17.04	19.50

3月31日終了の会計年度
Years ended March 31

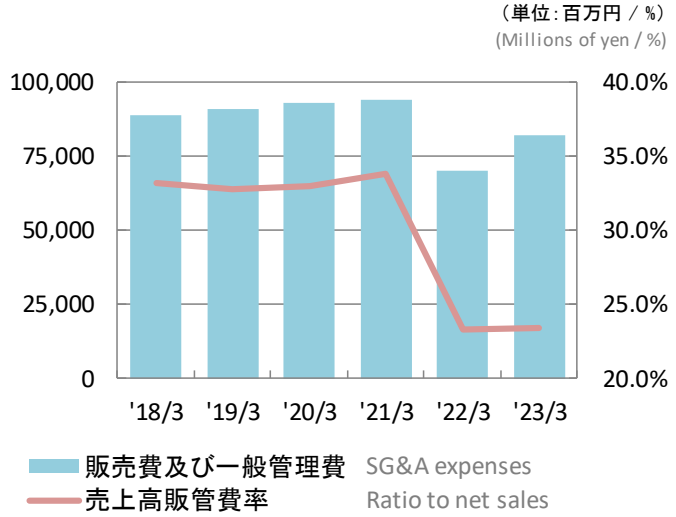
◆ 損益動向 Profit and Loss Trends

売上原価・売上高原価率 Cost of sales, Ratio to net sales



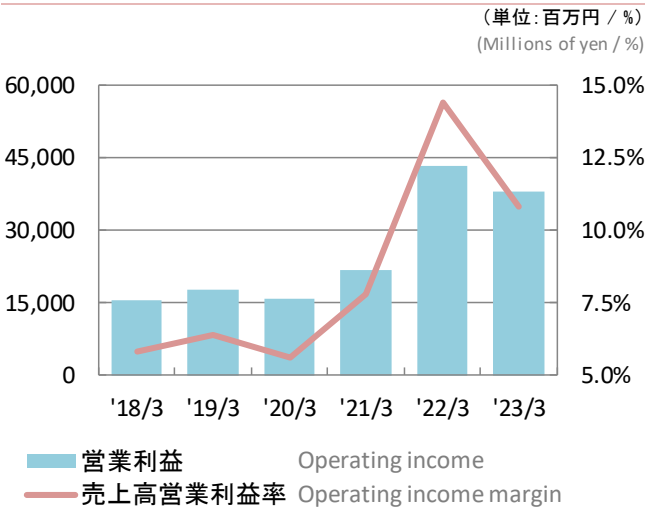
年度 FY	売上原価 Cost of sales	売上高原価率 Ratio to net sales
'18/3	163,529	61.0%
'19/3	168,694	60.8%
'20/3	172,574	61.4%
'21/3	162,849	58.5%
'22/3	187,376	62.3%
'23/3	230,723	65.8%

販売費及び一般管理費・売上高販管費率 SG&A expenses, Ratio to net sales



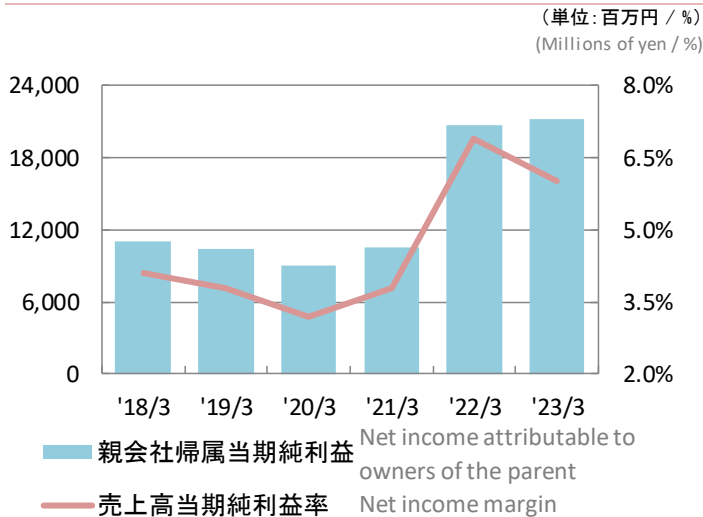
年度 FY	販売費及び一般管理費 SG&A expenses	売上高販管費率 Ratio to net sales
'18/3	88,999	33.2%
'19/3	90,945	32.8%
'20/3	92,781	33.0%
'21/3	93,999	33.8%
'22/3	70,187	23.3%
'23/3	81,996	23.4%

営業利益・売上高営業利益率 Operating income, Operating income margin



年度 FY	営業利益 Operating income	売上高営業利益率 Operating income margin
'18/3	15,612	5.8%
'19/3	17,804	6.4%
'20/3	15,836	5.6%
'21/3	21,595	7.8%
'22/3	43,354	14.4%
'23/3	37,945	10.8%

親会社株主に帰属する当期純利益・売上高当期純利益率 Net income attributable to owners of the parent, Net income margin



年度 FY	親会社帰属当期純利益 Net income attributable to owners of the parent	売上高当期純利益率 Net income margin
'18/3	11,029	4.1%
'19/3	10,411	3.8%
'20/3	8,980	3.2%
'21/3	10,574	3.8%
'22/3	20,769	6.9%
'23/3	21,206	6.0%

※2022年3月期より、収益認識に関する会計基準等の適用に伴い、従来販売費及び一般管理費で処理していた費用の一部を売上高から控除しております。

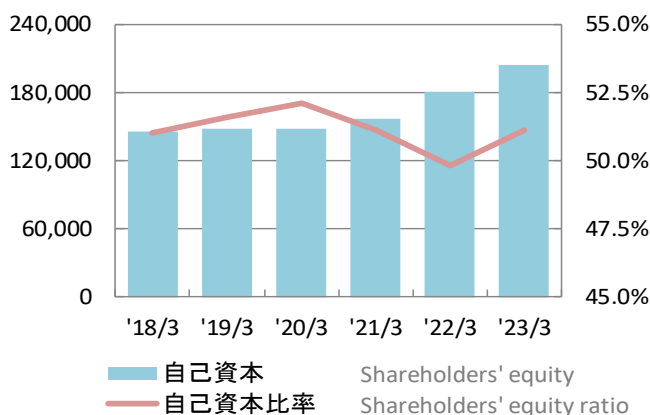
◆財務状態 Financial Condition

3月31日終了の会計年度
Years ended March 31

自己資本・自己資本比率

Shareholders' equity, Shareholders' equity ratio

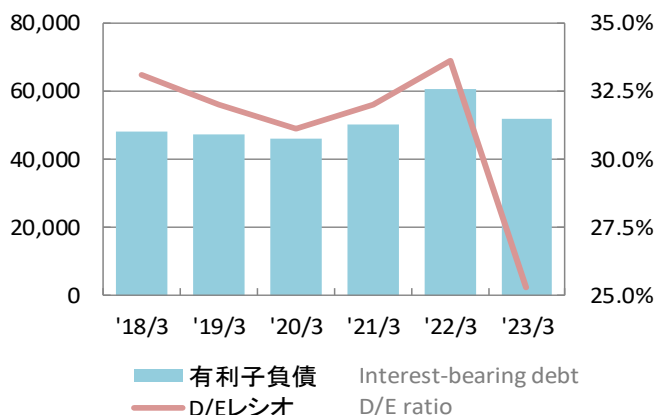
(単位:百万円 / %)
(Millions of yen / %)



有利子負債・D/Eレシオ

Interest-bearing debt, D/E ratio

(単位:百万円 / %)
(Millions of yen / %)



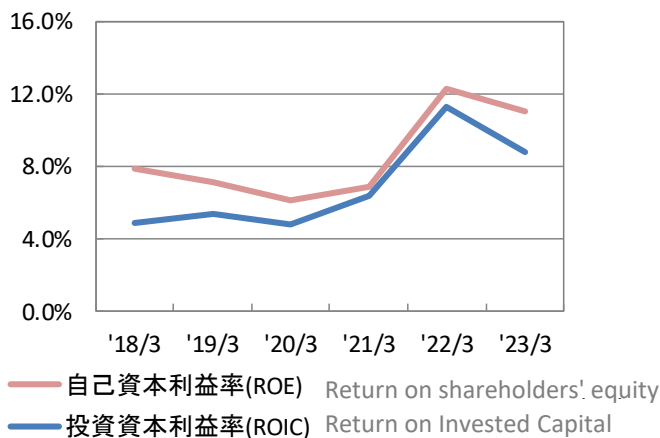
年度 FY	自己資本 Shareholders' equity	自己資本比率 Shareholders' equity ratio
'18/3	145,111	51.0%
'19/3	148,197	51.6%
'20/3	147,762	52.1%
'21/3	156,884	51.1%
'22/3	180,420	49.8%
'23/3	203,951	51.1%

年度 FY	有利子負債 Interest-bearing debt	D/Eレシオ D/E ratio
'18/3	47,982	33.1%
'19/3	47,427	32.0%
'20/3	46,070	31.1%
'21/3	50,256	32.0%
'22/3	60,655	33.6%
'23/3	51,793	25.3%

D/Eレシオ=有利子負債 / 自己資本 × 100
D/E ratio = Interest-bearing debt / Shareholders' equity × 100

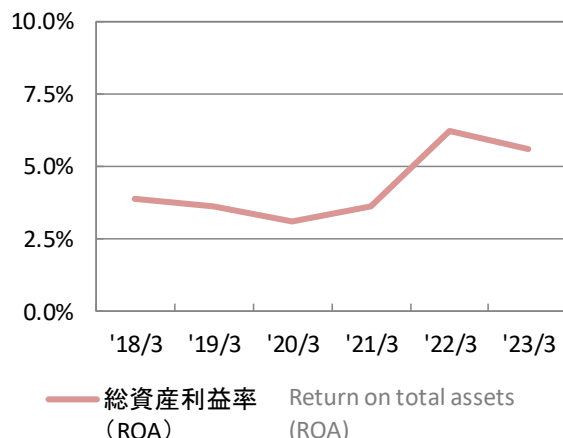
自己資本利益率(ROE)、投資資本利益率(ROIC)

Return on shareholders' equity, Return on Invested Capital



総資産利益率(ROA)

Return on total assets (ROA)



年度 FY	自己資本利益率(ROE) Return on shareholders' equity	投資資本利益率(ROIC) Return on Invested Capital
'18/3	7.9%	4.9%
'19/3	7.1%	5.4%
'20/3	6.1%	4.8%
'21/3	6.9%	6.4%
'22/3	12.3%	11.3%
'23/3	11.0%	8.8%

年度 FY	総資産利益率(ROA) Return on total assets (ROA)
'18/3	3.9%
'19/3	3.6%
'20/3	3.1%
'21/3	3.6%
'22/3	6.2%
'23/3	5.6%

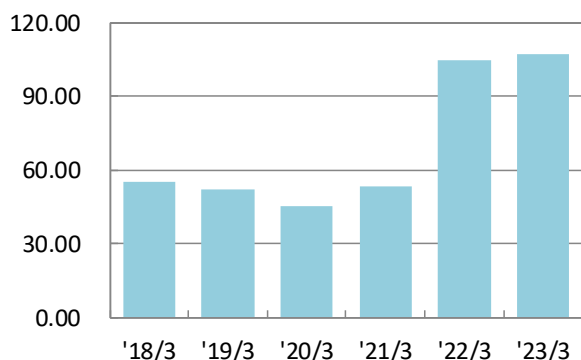
◆1株当たりデータ Per Share Data

3月31日終了の会計年度
Years ended March 31

1株当たり当期純利益 (EPS)

Net income per share (EPS)

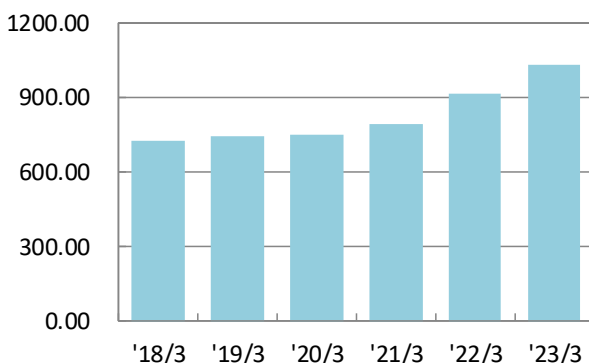
(単位:円)
(Yen)



1株当たり純資産 (BPS)

Net assets per share (BPS)

(単位:円)
(Yen)



年度 FY	1株当たり当期純利益 (EPS) Net income per share (EPS)
'18/3	54.97
'19/3	52.15
'20/3	45.11
'21/3	53.48
'22/3	105.05
'23/3	107.26

年度 FY	1株当たり純資産 (BPS) Net assets per share (BPS)
'18/3	726.90
'19/3	742.36
'20/3	747.39
'21/3	793.53
'22/3	912.58
'23/3	1031.60

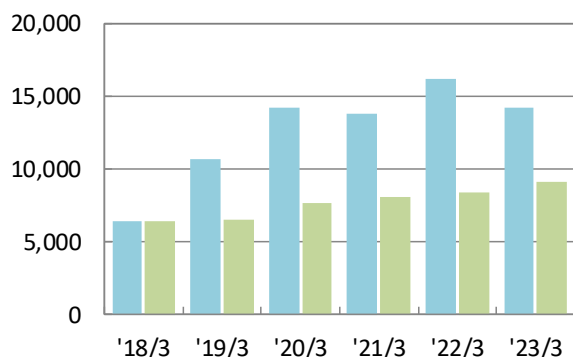
◆その他 Other

3月31日終了の会計年度
Years ended March 31

設備投資額・減価償却費

Capital expenditures, Depreciation and amortization

(単位:百万円)
(Millions of yen)



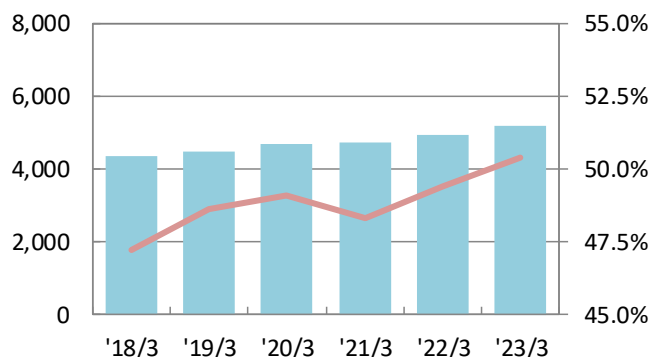
■ 設備投資額 Capital expenditures
■ 減価償却費 Depreciation and amortization

年度 FY	設備投資額 Capital expenditures	減価償却費 Depreciation and amortization
'18/3	6,414	6,430
'19/3	10,671	6,490
'20/3	14,195	7,626
'21/3	13,775	8,068
'22/3	16,213	8,425
'23/3	14,165	9,118

従業員数・海外従業員比率

Number of employees, Overseas employees ratio

(単位:人 / %)
(Persons / %)

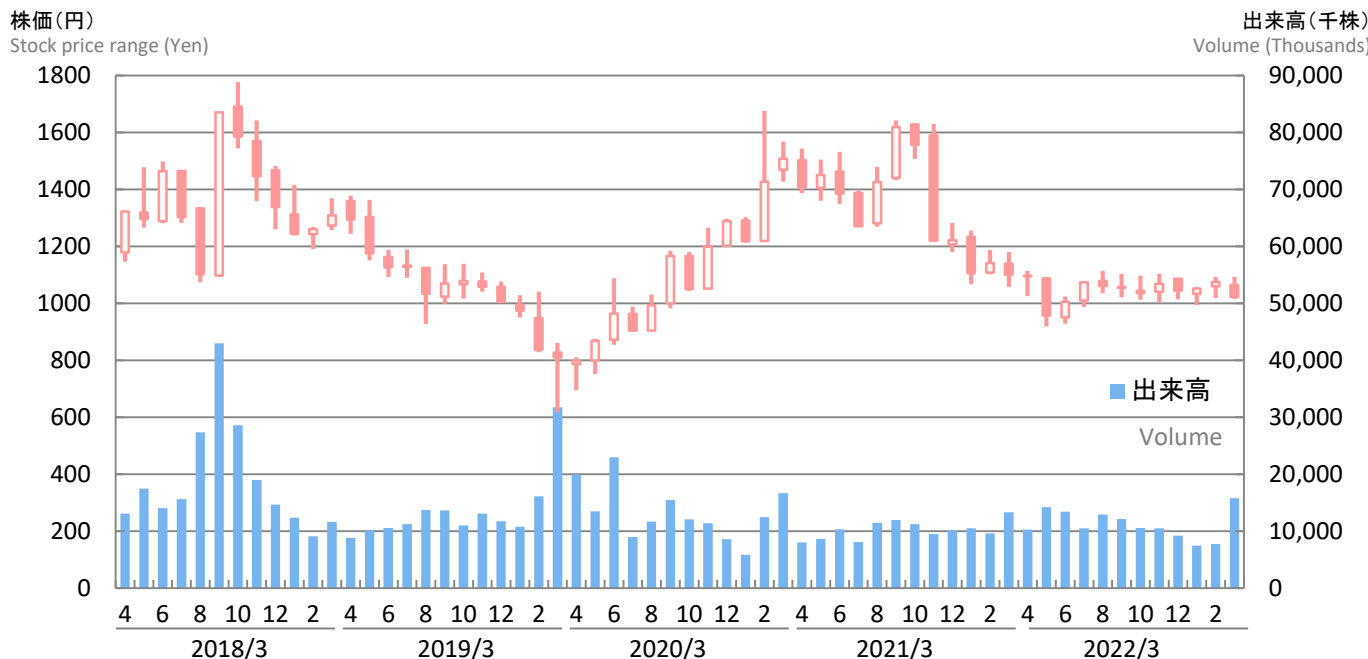


■ 従業員数 Number of employees
— 海外従業員比率 Overseas employees ratio

年度 FY	従業員数 Number of employees	海外従業員比率 Overseas employees ratio
'18/3	4,349	47.2%
'19/3	4,493	48.6%
'20/3	4,680	49.1%
'21/3	4,748	48.3%
'22/3	4,934	49.4%
'23/3	5,171	50.4%

◆ 株価の推移

Stock Price Range on the Tokyo Stock Exchange



◆ 株式データ

Stock Data

3月31日終了の会計年度 Years ended March 31	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
期末発行済株式数(千株) Number of outstanding shares at year end (Thousands)	201,699	201,699	199,699	199,699	199,699	199,699
期末自己株式数(千株) Number of treasury stocks at year end (Thousands)	2,069	2,069	1,995	1,995	1,995	1,995
株価 Stock price						
始値(円) Opening price (Yen)	1,204	1,185	1,343	787	1,502	1,096
高値(円) High (Yen)	1,439	1,777	1,378	1,675	1,642	1,114
安値(円) Low (Yen)	1,021	1,074	617	695	1,058	918
終値(円) Closing price (Yen)	1,181	1,309	810	1,507	1,101	1,022
出来高(千株) Volume (Thousands)	165,511	225,991	162,675	159,640	123,095	134,932
1株当たり配当金(円)*1 Cash dividends per share (Yen)*1	16.00	18.00	20.00	21.00	37.00	38.00
配当性向(%) Payout ratio (%)	29.1	34.5	44.3	39.3	35.2	35.4
自己株式取得額(百万円) Amount of share buybacks (Millions of yen)	2,001	-	2,000	-	-	-

◆大株主一覧 Principal Shareholders

2023年3月31日現在
As of March 31, 2023

株主名 Name	所有株式数(千株) Number of shares held (Thousands)	所有株式数の割合(%) Percentage of shares held (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) The Master Trust Bank of Japan, Ltd. (Trust Account)	35,910	18.16
株式会社日本カストディ(信託口) Custody Bank of Japan, Ltd. (Trust Account)	16,994	8.60
株式会社みずほ銀行 Mizuho Bank, Ltd.	9,738	4.93
農林中央金庫 The Norinchukin Bank	9,500	4.81
明治安田生命保険相互会社 Meiji Yasuda Life Insurance Company	5,370	2.72
株式会社京都銀行 Bank of Kyoto, Ltd.	5,000	2.53
東京海上日動火災保険株式会社 Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd.	3,878	1.96
国分グループ本社株式会社 KOKUBU GROUP CORP.	3,489	1.77
宝グループ社員持株会 Takara Group Employees' Shareholding Association	3,208	1.62
日本アルコール販売株式会社 JAPAN ALCOHOL TRADING COMPANY LIMITED	3,000	1.52

(注) 所有株式数の千株未満は切り捨てております。

Notes: Any amount that is less than 1,000 shares is disregarded.

◆所有者別株式分布状況 Distribution of Ownership Among Shareholders

2023年3月31日現在
As of March 31, 2023



◆株主メモ Stock and Investor Information

2023年3月31日現在
As of March 31, 2023

発行株式 Common stock	株主数 Number of shareholders	83,851名 83,851
発行可能株式総数 Authorized	上場取引所 Stock listings	東証プライム Tokyo Prime
発行済株式総数 Issued and outstanding	証券コード Securities code number	2531
株主名簿管理人 Shareholders registry administrator	定時株主総会 The annual meeting of shareholders of the Company is normally held in June each year.	みずほ信託銀行株式会社 Mizuho Trust & Banking Co., Ltd.

会社名 Name	所在国 Country	議決権の 所有割合 Percentage of Equity Owned	主な事業内容 Line of Business
宝酒造(国内事業) Takara Shuzo (Domestic Business)			
宝酒造株式会社 Takara Shuzo Co., Ltd.	日本 Japan	100.0%	酒類、調味料、原料用アルコールの製造・販売 Manufacture and sale of alcoholic beverages, seasonings, and raw alcohol
宝酒造インターナショナルグループ(海外事業) Takara Shuzo International Group (Overseas Business)			
宝酒造インターナショナル株式会社 Takara Shuzo International Group	日本 Japan	100.0%	グループ会社管理、酒類・調味料の輸出販売等 Management of group companies, export and sale, etc. of alcoholic beverages and seasonings
東京共同貿易株式会社 Tokyo Mutual Trading Co., Ltd.	日本 Japan	51.0%	食料品、酒類、雑貨品等の輸出・輸入販売業 Export, import and sale of foods, alcoholic beverages, miscellaneous goods, etc.
Takara Sake USA Inc.	米国 U.S	100.0%	酒類の製造・販売、輸出および輸入販売 Manufacture, sale, export, and import and sale of alcoholic beverages
Age International, Inc.	米国 U.S	100.0%	バーボンウイスキーの販売 Sale of bourbon whisky
Mutual Trading Co., Inc.	米国 U.S	70.2%	酒類・食品・調味料等の輸入・卸売業 Import and wholesale of alcoholic beverages, foods, seasonings, etc.
The Tomatin Distillery Co. Ltd	英国 U.K	94.2%	スコッチウイスキーの製造・販売 Manufacture and sale of Scotch whisky
Tazaki Foods Ltd	英国 U.K	100.0%	酒類・食品・調味料等の輸入・卸売業 Import and wholesale of alcoholic beverages, foods, seasonings, etc.
FOODEX S.A.S.	仏国 France	100.0%	酒類・食品・調味料等の輸入・卸売業 Import and wholesale of alcoholic beverages, foods, seasonings, etc.
Cominport Distribución S.L.	スペイン Spain	100.0%	酒類・食品・調味料等の輸入・卸売業 Import and wholesale of alcoholic beverages, foods, seasonings, etc.
Keta Foods, Lda	ポルトガル Portugal	100.0%	酒類・食品・調味料等の輸入・卸売業 Import and wholesale of alcoholic beverages, foods, seasonings, etc.
Nippon Food Supplies Company Pty Ltd	オーストラリア Australia	100.0%	酒類・食品・調味料等の輸入・卸売業 Import and wholesale of alcoholic beverages, foods, seasonings, etc.
宝酒造食品有限公司 Takara Shuzo Foods Co., Ltd.	中国 China	92.0%	酒類の製造・販売、輸出および輸入販売 Manufacture, sale, export, and import and sale of alcoholic beverages
上海宝酒造貿易有限公司 Shanghai Takara Shuzo International Trading Co., Ltd.	中国 China	100.0%	酒類・食品の輸出および輸入販売 Export, and import and sale of alcoholic beverages and foods
Takara Shuzo Asia Pacific Pte. Ltd.	シンガポール Singapore	100.0%	宝酒造製品の市場開発および販売促進 Japan Market development and sales promotion for Takara Shuzo products
タカラバイオグループ(バイオ事業) TakaraBio Group (Biomedical Business)			
タカラバイオ株式会社 Takara Bio Inc.	日本 Japan	60.9%	研究用試薬、理化学機器などの製造・販売、受託サービス、遺伝子治療の商業化 Development and sale of research reagents and scientific instruments,
Takara Bio USA, Inc.	米国 U.S	100.0%	研究用試薬・理化学機器の開発・製造・販売 Development and sale of research reagents and scientific instruments
Takara Bio Europe S.A.S.	仏国 France	100.0%	研究用試薬・理化学機器の販売 Sale of research reagents and scientific instruments
DSS Takara Bio India Pvt. Ltd	インド India	51.0%	研究用試薬の製造・販売 Development and sale of research reagents
宝生物工程(大連)有限公司 Shanghai Takara Shuzo International Trading Co., Ltd.	中国 China	100.0%	研究用試薬の開発・製造・グループ内販売、受託サービス Development, production and sale of research reagents, contract research service
宝日医生物技術(北京)有限公司 Shanghai Takara Shuzo International Trading Co., Ltd.	中国 China	100.0%	研究用試薬・理化学機器の販売 Sale of research reagents and scientific instruments
Takara Korea Biomedical Inc.	韓国 Korea	100.0%	研究用試薬・理化学機器の販売 Sale of research reagents and scientific instruments

会社名 Name	所在国 Country	議決権の 所有割合 Percentage of Equity Owned	主な事業内容 Line of Business
その他(国内グループ会社) Other (Domestic related Business)			
大平印刷株式会社 Taihei Printing Co., Ltd.	日本 Japan	100.0%	印刷業 Printing
川東商事株式会社 Kawahigashi Shoji Co., Ltd.	日本 Japan	100.0%	不動産賃貸 Real estate leasing
株式会社トータルマネジメントビジネス Total Management Business Co., Ltd.	日本 Japan	100.0%	マーケティングに関する調査、販促企画、人材派遣事業 Marketing research, sales promotion planning, and temporary staffing service
タカラ物流システム株式会社 Takara Butsuryu System Co., Ltd.	日本 Japan	100.0%	運送業、倉庫業、自動車整備業、損害保険代理業、旅行業等 Transportation, warehousing, automobile service, non-life insurance agent, travel agent, etc.
タカラ容器株式会社 Takara Yoki Co., Ltd.	日本 Japan	100.0%	容器卸売業 Wholesale of glass bottles
タカラ物産株式会社 Takara Bussan Co., Ltd.	日本 Japan	100.0%	飼料販売 Sale of feed
株式会社ラックコーポレーション Luc Corporation, Ltd.	日本 Japan	100.0%	ワイン輸入販売 Import and sale of wine

将来見通しに関する注意事項

この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的な事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

Forward-Looking Statements

Statements in this document, other than those based on historical fact, concerning the current plans, prospects, strategies and expectations of the Company and its Group represent forecasts of future results. While such statements are based on the conclusions of management according to information available at the time of writing, they reflect many assumptions and opinions derived from information that includes major risks and uncertainties. Actual results may vary significantly from these forecasts due to various factors.

Factors that could influence actual results include, but are not limited to, economic conditions, especially trends in consumer spending, as well as exchange rate fluctuations, changes in laws and government systems, pressure from competitors' prices and product strategies, declines in selling power of the Company's existing and new products, disruptions to production, violations of the Company's intellectual property rights, rapid advances in technology and unfavorable verdicts in major litigation.

＜お問合せ先＞

宝ホールディングス株式会社 広報・IR部

TAKARA HOLDINGS INC. Public Relations and Investor Relations Dept.

E-Mail ir@takara.co.jp

TEL 075-241-5124